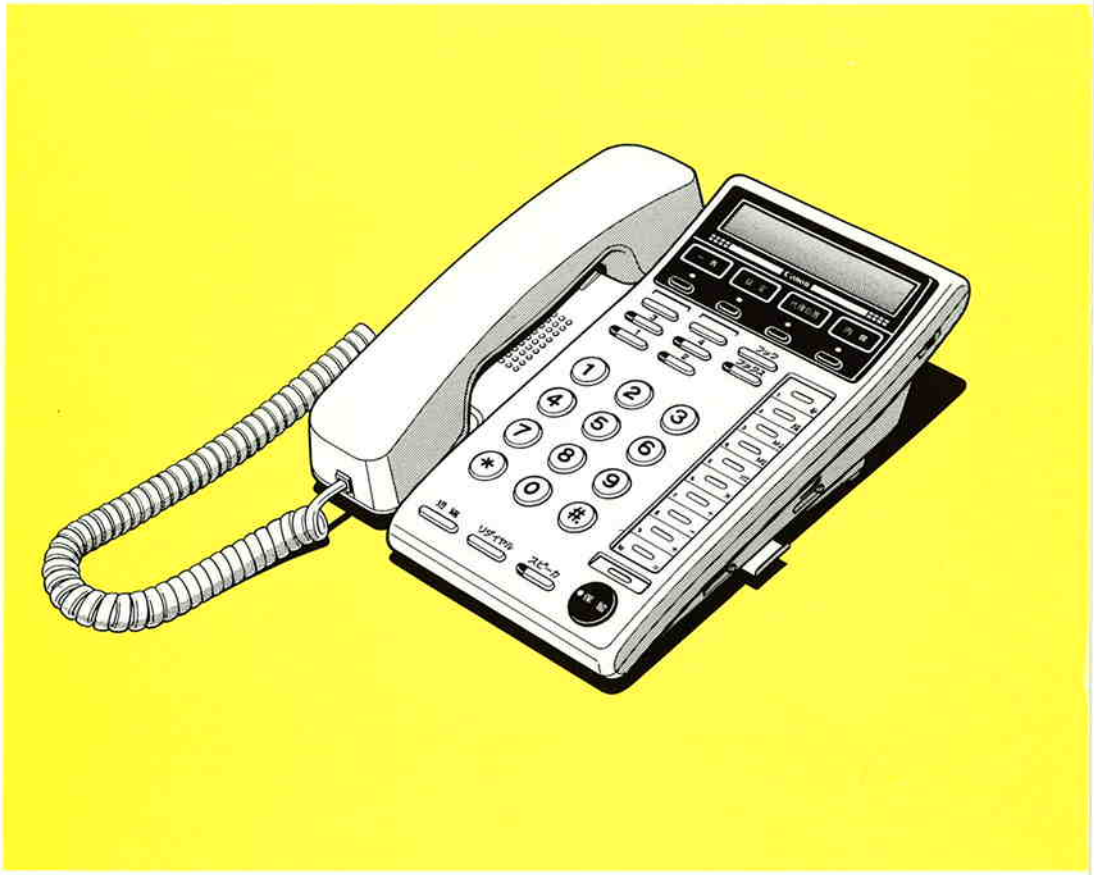


TELEPHONES

Canon  
CANON DIGITALPHONE SYSTEM  
**DIGI 408**

使用説明書



このたびは《キャノン・デジタルホン・システムDIGI 408》をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。

《キャノン・デジタルホン・システムDIGI 408》を正しくご使用いただくために、この使用説明書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

この装置は、第1種情報装置(商工業地域において使用されるべき情報装置)で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

操作説明書に従って正しい取扱いをしてください。

# もくじ

## PART1 ご使用のまえに

システムの概略	7
電源について	9
設置場所について	9
お手入れについて	9
届出と手続	10
接続のしかた	11
傾斜台ユニットを使用する場合	12
ワンタッチダイヤルシートの取付けかた	13
短縮ダイヤルシートの取付けかた	14
各部の名称とはたらき	14
・主装置	14
・電話機	15
ページの見かた	19

## PART2 外線でのつかいかた

### 電話をかけるとき

受話器をとってかけます(外線発信1)	21
受話器をとらずに電話をかけます(外線発信2)	22
ボタン1つで電話をかけます(ワンタッチダイヤル)	23
短縮ダイヤルで電話をかけます(短縮ダイヤル)	26
最後にかけた相手にダイヤルします(リダイヤル)	29
通話中に電話番号を記憶させてあとでかけます(メモダイヤル)	30

### 空いている外線がないとき

外線の予約をします(外線予約)	31
-----------------	----

### 不在・話し中のとき

本機が自動的に再ダイヤルします(オートリピートダイヤル)	32
------------------------------	----

## 電話をうけるとき

外線からかかってきた電話を受けます(外線応答1).....	34
着信音が鳴っていない電話機で受けます(外線応答2).....	34
留守のとき音声メッセージで答えます(留守応答).....	35
留守応答のときの音声メッセージを録音します(メッセージ録音).....	36

## 保留・転送

通話中の外線を保留します(外線システム保留).....	40
自分の電話機だけで保留します(外線自己保留).....	41
転送について.....	42
あらかじめ設定しておいた外線の手先に自動転送します(外線・外線転送1).....	43
外線の手先に転送します(外線・外線転送2).....	45
近くにいる内線の人に転送します(外線・内線転送1).....	46
離れている内線の人に転送します(外線・内線転送2).....	48
ファクスへ転送します(ファクス転送).....	49

# PART3 内線でのつかいかた

## 電話をかけるとき

内線へ電話をかけます(内線発信).....	51
音声で相手呼出します(音声呼出).....	53
内線の相手を一斉に呼出します(内線一斉呼出).....	54

## 不在・話し中のとき

相手の電話機に自分の内線番号を表示させます(メッセージウェイト).....	55
話し中の相手呼出します(話中呼出).....	56
相手が話し中のときに通話予約をします(内線予約).....	57

## 電話をうけるとき

内線からかかってきた電話を受けます(内線応答).....	59
他の電話機にかかってきた内線電話を受けます(内線代理応答).....	59

## 保留・転送

内線と通話中の電話を保留します(内線システム保留).....	60
近くにいる内線の人に転送します(内線・内線転送1).....	61
離れている内線の人に転送します(内線・内線転送2).....	63
内線通話を外線へ転送します(内線・外線転送).....	64

# PART4 外・内線共通のつかいかた

3人で同時に通話します(会議通話).....	67
不在のときに電話がかからないようにします(不在設定).....	68
不在のときにあらかじめ設定しておいた相手先へ転送を行います(不在転送).....	69

# PART5 さらに便利な機能

自分の内線番号と端子番号を確認します(内線番号表示).....	73
ダイヤルボタンを押すと音がします(キーイントーン).....	74
トーン信号によって各種サービスを受けます(PB信号送出).....	74
電話機ごとに各外線の発信、着信のしかたを設定します(外線別発着信規制).....	75
電話機ごとに発信できる区域を設定します(サービスクラス).....	76
通話中にかかってきた外線からの電話を知らせます(話中着信).....	77
外線からの電話が1台の電話機に集中してかかるようにします(集中着信).....	78
外線からの電話をファクスに着信させます(ファクススライド着信).....	80
外線ごとに受けることのできる電話機を設定します(ダイレクト・イン・ライン).....	82
外線ごとに着信音の鳴る電話機を設定します(着信鳴動指定).....	83
外線ごとに着信音の音色を変えます(外線別着信音).....	84
警告音を出して長電話を防ぎます(長時間通話警報).....	84
警告音を出して長時間の保留を防ぎます(保留警報).....	85
着信音を外部スピーカから出します(ベル拡声).....	85
受話器をおいたまま通話します(ハンズフリー通話).....	86
機能ボタンの登録を行います(フレキシブルキーアサイン).....	88
操作をプログラマブルキー、ワンタッチダイヤルボタンに登録します(プログラマブルキーアサイン).....	90
1外線ごとの着信モードを切替えます(着信モード切替).....	93

## PART6 アラーム・ドアホン・構内放送・電卓

指定の時刻にアラームを鳴らします(アラーム).....	95
ドアホンの相手と通話します(ドアホン).....	97
来客検知機を利用します(来客検知機).....	99
外部スピーカを使って放送します(構内放送).....	100
電話機からの操作でドアの開閉ができます(コントロール信号出力).....	101
ディスプレイを使って計算します(電卓).....	102
・各部の名称とはたらき.....	103
・計算のしかた.....	104
・10桁を越えた計算について(オーバーフロー).....	107

## PART7 料金計算と料金表示

通話中の時間と料金を表示します(通話料金表示).....	109
使用料金の累計をメータ表示します(料金メータ表示).....	109
使用料金を集計します(料金集計表示).....	110

## PART8 その他

日付、時刻を合わせます.....	115
停電のとき.....	117
故障かなと思うまえに.....	117
さくいん.....	118
主な仕様.....	120





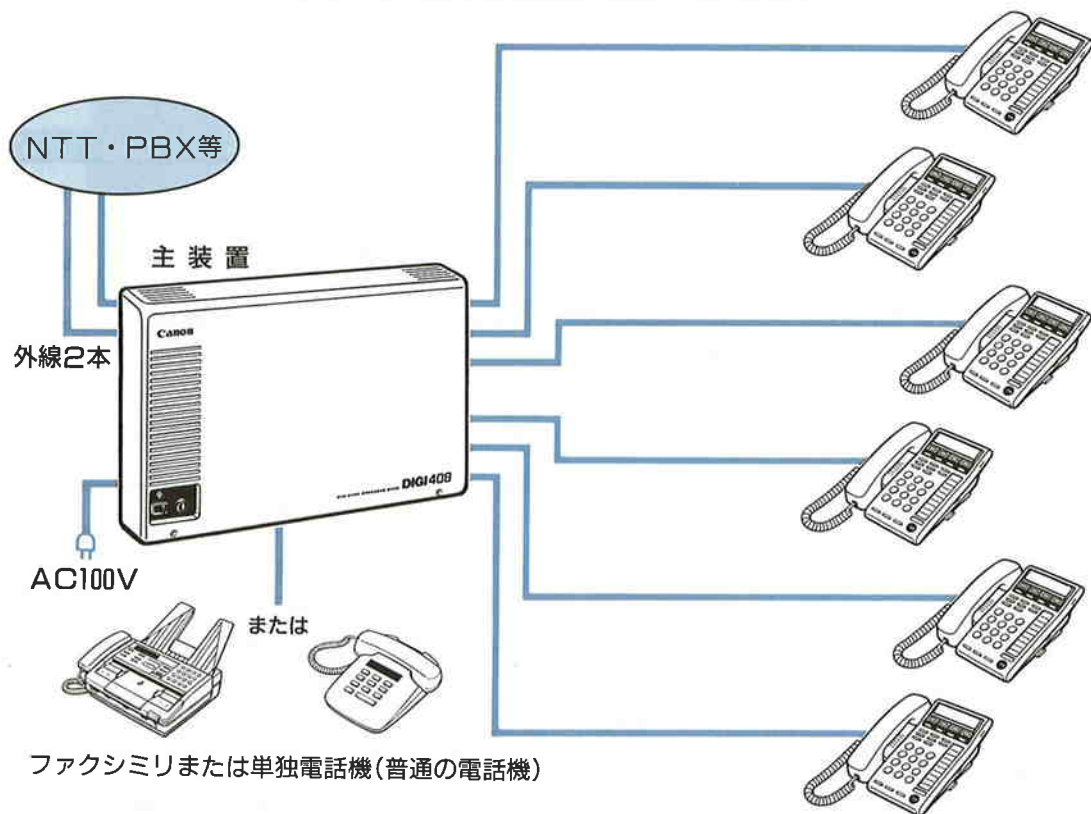


## システムの概略

〈キャノン・デジタルホン・システムDIGI 408〉は、主装置のほかに図のような4種類の電話機があり、この中からお客機の必要に応じたタイプの電話機をお選びいただけます。ただし、ディスプレイのある電話機(B、C、Dタイプ)が最低1台必要です。

●この使用説明書は、標準電話機(Bタイプ ディスプレイ付)を基準に説明しています。

※オプションによってさらに外線2本と単独電話を1本と内線2本を増設することができます。



★必要に応じてお選びください。

標準電話機

(Aタイプ  
ディスプレイなし)



標準電話機

(Bタイプ  
ディスプレイあり)



ハンズフリー電話機

(Cタイプ  
ディスプレイあり)



停電用電話機

(Dタイプ  
ディスプレイあり)



## ★この使用説明書の中でのマークについて



ディスプレイが付いていない標準電話機(Aタイプ)についての説明です。



ディスプレイ付きの標準電話機(Bタイプ)・ハンズフリー電話機(Cタイプ)・停電用電話機(Dタイプ)についての説明です。



このマークがついている機能はマスター電話機からしか操作できません。どの電話機をマスター電話機にするかは設置時に決定します。詳しくは工事担当者におたずねください。



単独電話機(普通の電話機)で使用できる機能の説明です。

**F12**

フレキシブルキーアサイン(→P. 88)の設定が必要な機能です。数字は機能コードを表します。

**オプション**

別売のオプションが必要な機能です。

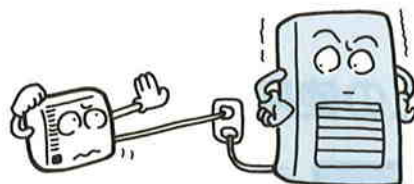
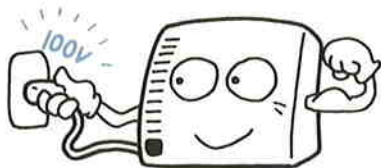
**データ設定**

工事者によるデータ設定が必要な機能です。詳しくは工事保守店にご相談ください。

## 電源について (主装置)

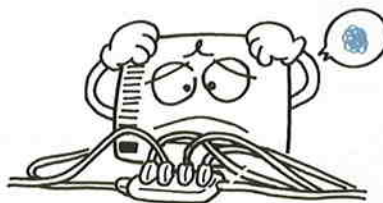
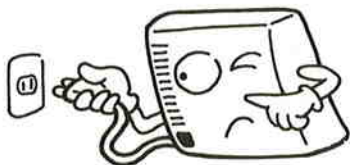
交流100Vの家庭用電源コンセントについてご使用ください。本機は国内用ですので海外ではご使用になれません。

電源ノイズの大きい系統(たとえば空調機、電動タイプライター等)と電源コンセントの共用は避けてください。



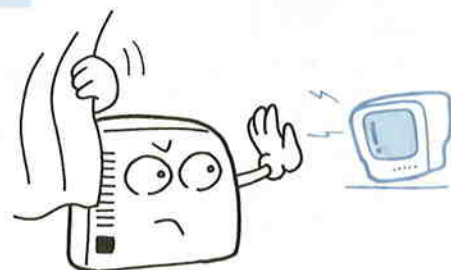
電源プラグは接触不良がないように、コンセントに確実に差し込んでください。また、プラグを抜くときには、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。

タコ足配線は危険ですので絶対にしないでください。



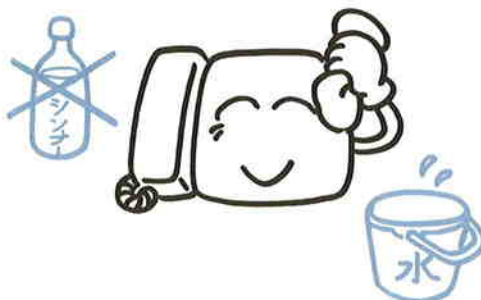
## 設置場所等について (主装置および電話機)

- 直射日光のあたる場所やホコリ、振動の多い場所、高温、高湿な場所、本機が落下するおそれのある場所に置かないでください。
- 冷・暖房器、高周波ウェルダ、電気溶接機の近くに置かないでください。
- テレビ・ラジオなどから2m以上離してご使用ください。
- 主装置の上に物を置かないでください。
- 主装置の前面をカーテン等でおおわないでください。



## お手入れについて (主装置および電話機)

柔らかいぬのを水またはうすい中性洗剤溶液でしめらせ、軽くふきとってください。シンナー、ベンジン、アルコール等は変色、故障の原因となりますので使わないでください。



## 届出と手続

ご使用に際しては、NTTへの接続請求が必要です。必要事項を記入のうえ郵送してください。

## 端末設備接続(変更)請求書の記入のしかた

端末設備接続(変更)請求書  
日本電信電話株式会社

契約者氏名 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり端末設備を設置するので提出します。

記

1. 端末機器を取りつける電話番号  
\* 市外局番からはっきりお書きください。

☎ (      )      —

2. 端末機器を取りつける場所(住所)

〒      —

都道      区郡      町区  
府県      市

3. 端末機器名等(新設又は変更後)

番号	機 器 名	適合認定・型式指定番号等
	H6T021 (CANON DIGITALPHONE SYSTEM DGI 408)	R92-0007-0

4. NTTからの連絡先

ご 連絡先 ☎(      )      —

工事担当者名 \_\_\_\_\_

\* 連絡先 ☎(      )      —

\* 工事担任者が必要な工事を行う場合に記入する。

## ● 契約者氏名

NTTに契約申込みをした時の契約者(名義人)です(通常は世帯主です)。必ずなつ印してください。

## ● 端末機器を取付ける電話番号

電話番号を記入してください。

## ● 端末機器を取付ける場所

住所を記入してください。

## ● 連絡先

契約者の連絡先…この請求書を提出する契約者の勤務先(自営の場合、店名等)、お名前、電話番号を記入してください。

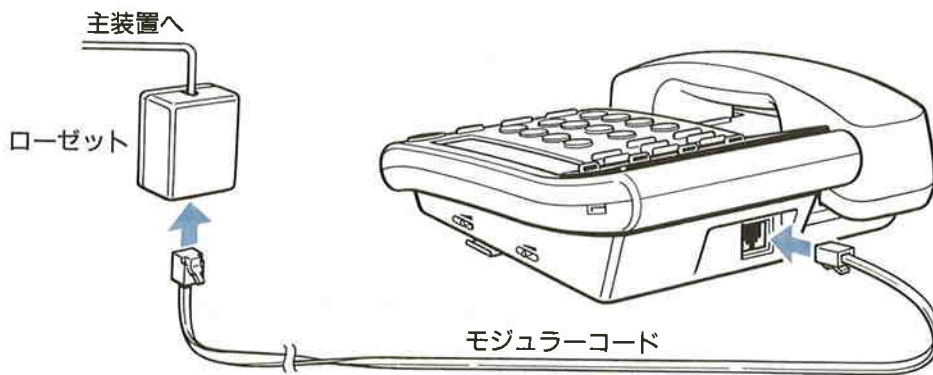
工事担当者名…販売店にご相談ください。

〈表面〉

● 切手 必ず切手をお貼りください。

# 接続のしかた

## 電話機とローゼットの接続



●モジュラーコードは必ず添付品のものをご使用ください。

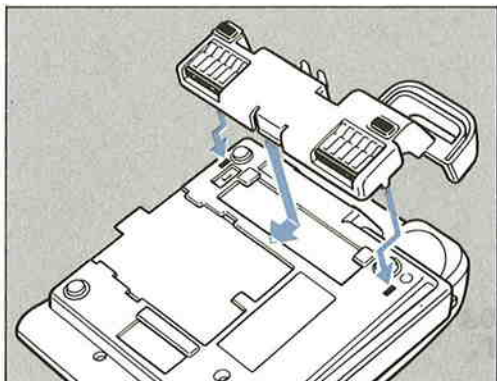
## 電話機本体と受話器の接続



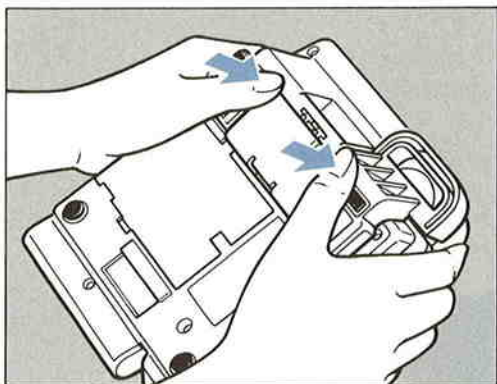
## 傾斜台ユニットを使用する場合

どのタイプの専用電話機も傾斜台ユニットを利用できます。底面後部の左右2か所にあるチルトフットを起こすことにより、専用電話機を2段階に傾斜させることができます。

### 傾斜台ユニットの取付けかた

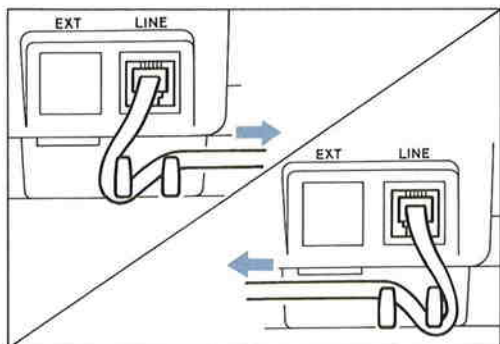


- 1 傾斜台ユニットの取付け用ツメを図のように電話機底面の溝にはめ込みます。



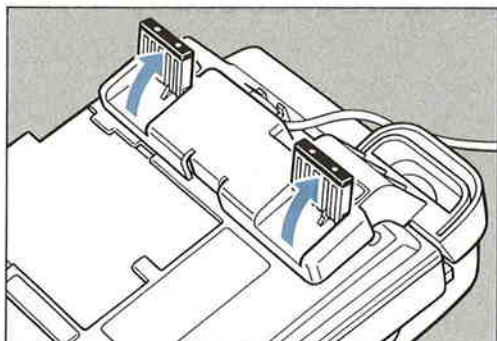
- 2 図の用にして傾斜台ユニットを取付けます。

### コードの取付けかた



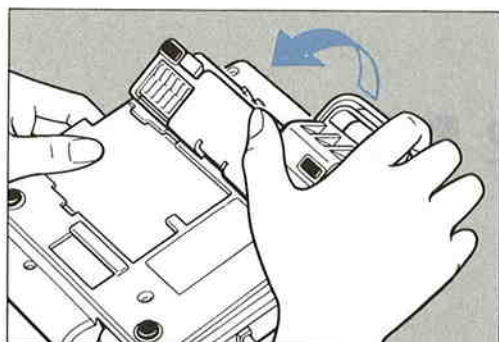
図のようにしてコードを傾斜台ユニットに取付けます。  
電話機後面に対して右方向にコードを出す場合と左方向にコードを接続する場合で取付けかたが異なります。

## チルトフットの起こしかた



必要に応じてチルトフットを図のようにカチッと音がするまで起こします。

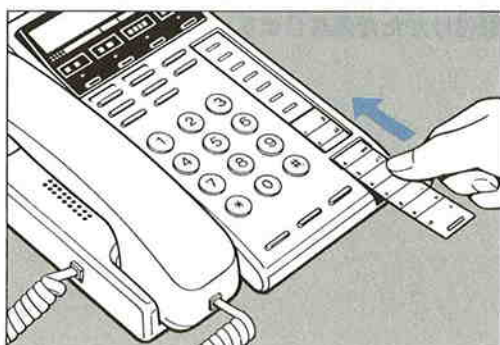
## 傾斜台ユニットの取外しかた



図のようにして傾斜台ユニットを取外します。

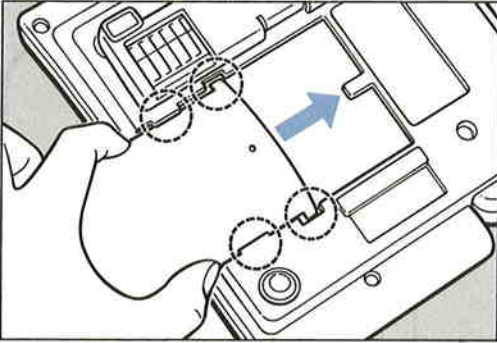
## ワンタッチダイヤル シートの取付けかた

本機にはワンタッチダイヤルシートが、電話機1台につき2枚入っています。鉛筆またはボールペンで、相手先を書いて図のように差し込んでください。引き出すときにはシートの先端をつまんで引き出してください。

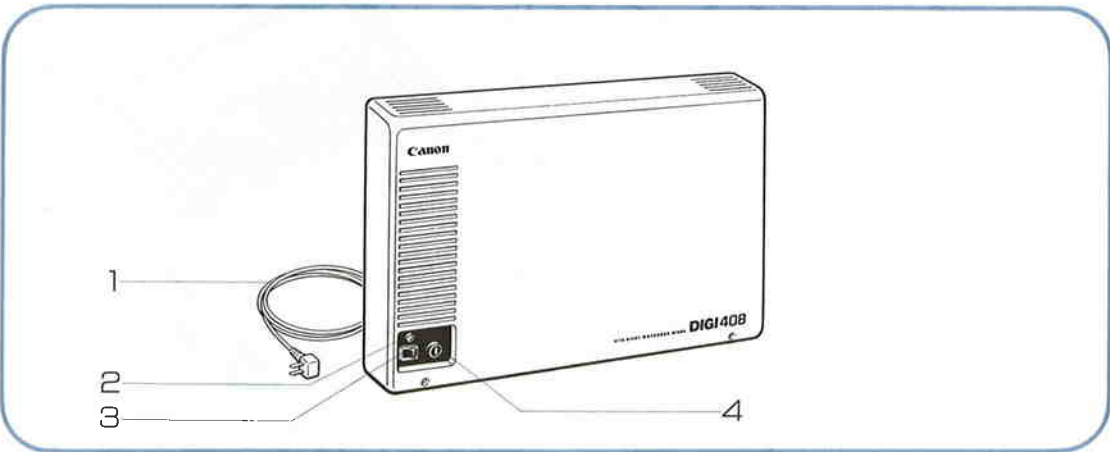


## 短縮ダイヤルシートの 取付けかた

電話機をご使用の際は、梱包されている短縮ダイヤルシートを図のように軽く曲げて、電話機底面に取付けてからご利用ください。



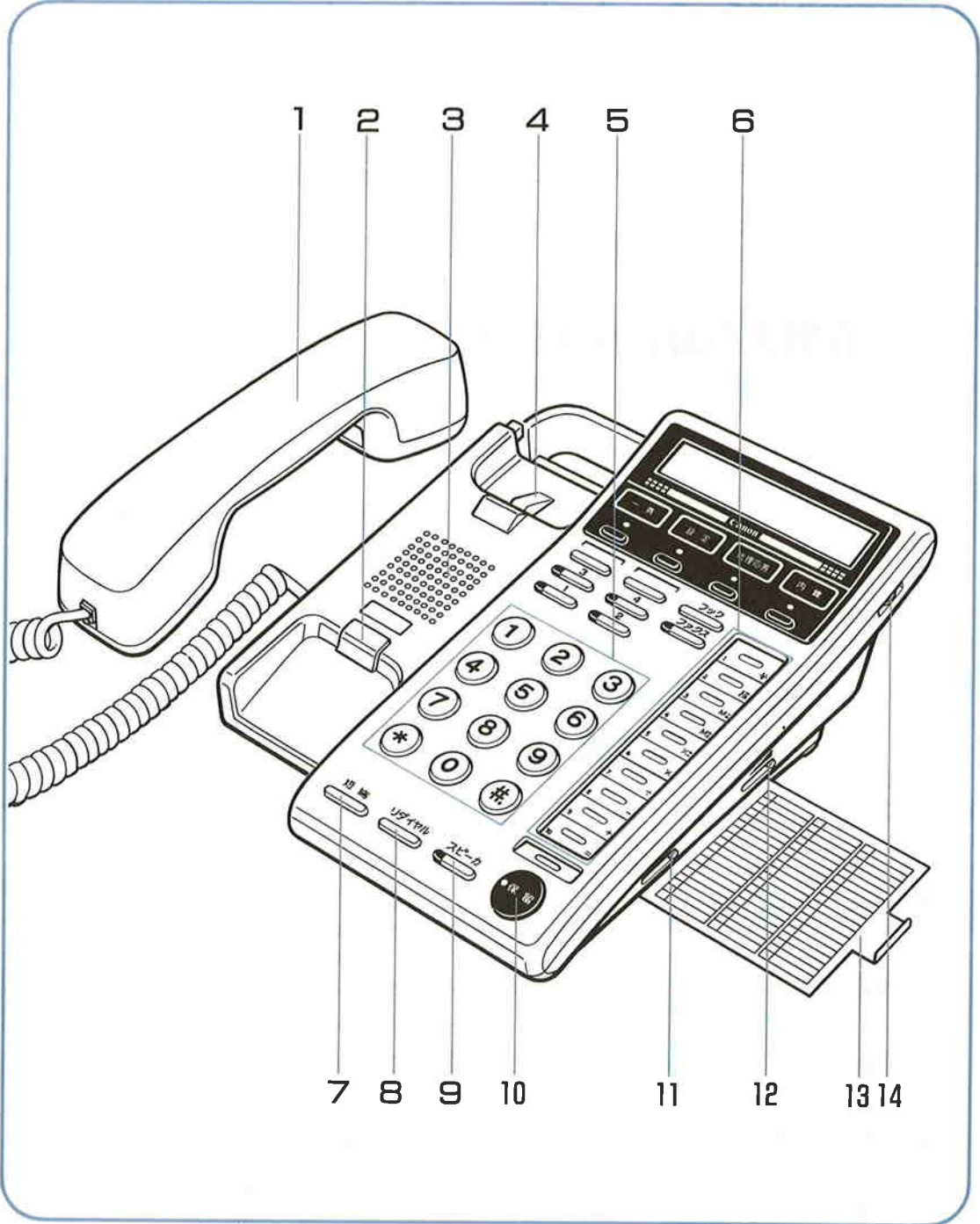
## 各部の名称とはたらき (主装置)



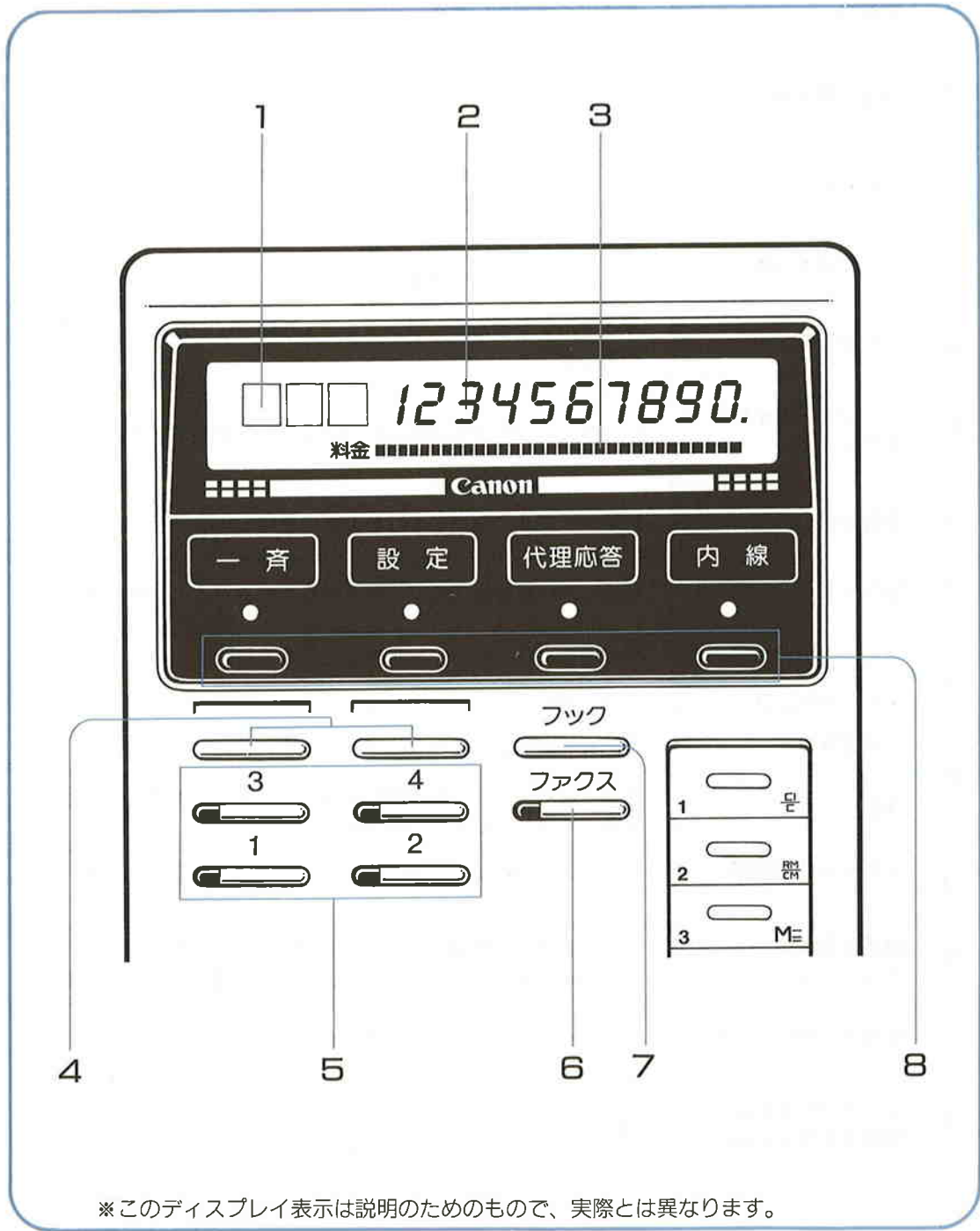
番号	名称	はたらき
1	電源コード	プラグを交流100Vの家庭用電源コンセントにつないでご利用ください。
2	電源ランプ	電源が入ると、緑色に点灯します。
3	電源スイッチ	電源のON・OFFを切り換えます。
4	電源ヒューズ	電源異常時に主装置を保護します。



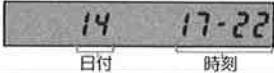
# 各部の名称とはたらき (電話機)



番号	名称	はたらき
1	受話器	通話のとき使用します。
2	受話音量調整ボタン	外線と通話をしているときに受話器から聞こえる音を調整します。1回押すと大きくなり、さらにもう1回押すともとにもどります。
3	スピーカ	スピーカ受話時に相手の声が聞こえます。また警告音なども聞こえます。
4	フックスイッチ	通話を切るときに使用します。またフッキングにも使用します。
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや、ワンタッチ・短縮ダイヤルの登録などに使用します。
6	ワンタッチダイヤルボタン	ワンタッチダイヤルで電話をかけるときに使用します。
7	短縮ボタン	短縮ダイヤルで電話をかけるときに使用します。
8	リダイヤルボタン	最後にかけた外線の相手にもう一度かけるときに使用します。
9	スピーカボタン	受話器をとらずにダイヤルすることができます。
	スピーカランプ	赤色・点灯……スピーカON
10	保留ボタン	通話を一時保留するときに使用します。
	保留ランプ	赤色・点灯……自分が外線を保留したときや内線保留中のとき 赤色・点滅……他人が内線保留中のとき
11	スピーカ音量調整ボリューム	スピーカの音量を調整します。手前にするほど小さくなります。
12	着信音量調整ボリューム	着信音の音量を調整します。手前にするほど小さくなります。ボリュームを手前いっぱい引いたときは、着信音は出なくなります。
13	短縮ダイヤルシート	短縮ダイヤルの番号と相手先をメモしておくとう便利です。
14	ディスプレイ表示濃度調整ダイヤル	ディスプレイの液晶画面濃度を調整します。 (漢字表示部分のみ) 上に回すと濃く、下に回すと薄くなります。



※このディスプレイ表示は説明のためのもので、実際とは異なります。

番号	名称	はたらき
1	漢字ディスプレイ	“外線” “内線” “呼出中”などが表示されます。
2	数字ディスプレイ	電話番号・通話時間・料金などが表示されます。 10桁までの数字が表示されます。 通常は日付と時刻を表示します。 
3	料金メータ	10個の“—”で、電話の料金を表示します。 “—”で1000円を表わします(この値は変更できます)。
4	プログラマブルキー	操作を登録することができます。(→P.90)また、ワンタッチダイヤルボタンとしても使用することができます。左側のプログラマブルキーをプログラマブルキー1、右側のプログラマブルキーをプログラマブルキー2とします。
5	外線ボタン	外線に電話をかけるときに使用します。 外線の接続されていない外線ボタンは、ワンタッチダイヤルボタンと同じ機能になります。
	外線ランプ	緑色・点灯……………自分が使用中 緑色・点滅……………自分が保留中 緑色・速い点滅……保留警報中 赤色・点灯……………他人が使用中 赤色・点滅……………他人が保留中 赤色・速い点滅……着信中
6	ファクスボタン	ファクシミリを主装置に接続されたファクシミリへ転送するときに使います。
	ファクスランプ	赤色・点滅……ファクシミリ転送中 赤色・点灯……ファクシミリ通信中
7	フックボタン	フッキングするときに使います。また、ダイヤルを途中で間違ったときや、登録の内容を取消するとき、通話中キャッチホンに応答するときに使います。
8	機能ボタン	<input type="checkbox"/> 一斉 ボタン、 <input type="checkbox"/> 設定 ボタン、 <input type="checkbox"/> 代理応答 ボタン、 <input type="checkbox"/> 内線 ボタンが標準で設定されています。 <input type="checkbox"/> 一斉 ボタン……………内線を一齐に呼出すときに使います。 <input type="checkbox"/> 設定 ボタン……………各機能を設定するときに使います。 <input type="checkbox"/> 代理応答 ボタン……他の電話機にかかってきた内線電話を受けるときに使います。 <input type="checkbox"/> 内線 ボタン……………内線へ電話をかけるときに使います。 *ハンズフリー機では <input type="checkbox"/> 一斉 ボタンの代りに <input type="checkbox"/> マイク ボタンが設定されています。

# ページの見かた

タイトル

電話の操作を大きく5種類に分けてあります。

フレキシブルキーアサイン(→P.88)が必要です。

機能名称

機能の説明

操作説明

機能説明のイラスト

使用できる電話機の種別(→P.8)

## 電話をかけるとき

### ドアホンの相手と通話します



オプション  
データ設定

#### ドアホン [F14]

ドアホンからの呼び出しに電話機で応答したり、電話機からドアホン呼び出して通話することができます。ドアホンはドアホン1、2の2つを接続できます。

#### 応答のしかた

- ドアホンからの着信音「ピンポン・ピンポン」または「ピーン・ポーン」が鳴ったら受話器をとってお話ください。着信音は2秒間鳴ります。また、ドアホン側にも呼出音が鳴ります。

#### メモ

- ドアホン1の着信音は「ピンポン・ピンポン」、ドアホン2の着信音は「ピーン・ポーン」になります。
- ドアホンが鳴ってから10秒間は、受話器をとって応答することができます。

#### 着信音の鳴っていない電話機での応答



ドアホンが鳴っている電話機以外の電話機でドアホンに応答するときは、つぎのようにします。

1 受話器をとります。 外線

2 ドアホン 「ドアホン」ボタンを押します。 ドア 30582111

3 ダイヤルボタンの0を押します。 ドア1

#### メモ

- ドアホンをご利用の際は、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。



別売のオプションが必要です。

この機能を使用する前にデータ設定が必要です。工事保守店にご相談ください。

機能表示ランプの位置

ディスプレイ表示

注意事項や参照事項

※このページは説明のためのもので、実際にはありません。

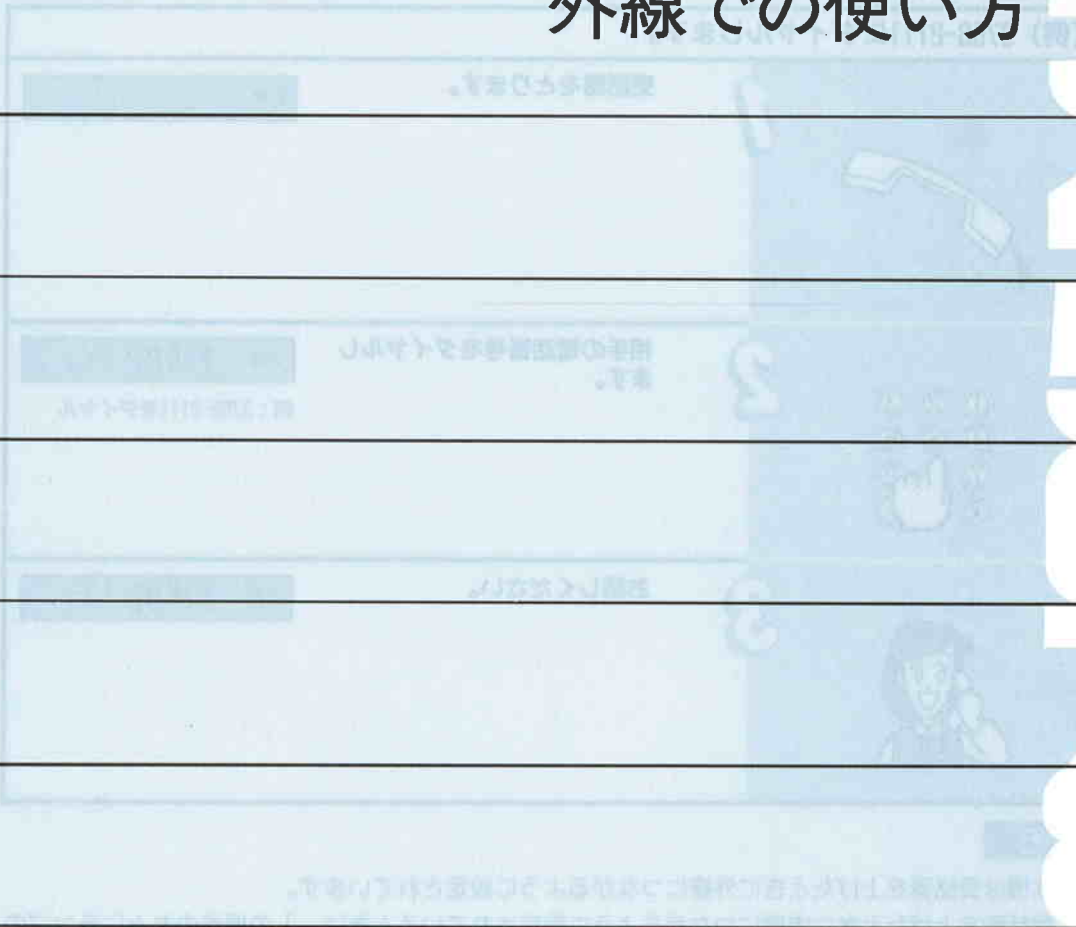


きらびやかモバイル

「きらびやかモバイル」の使い方  
きらびやかモバイルの使い方

## PART 2

### 外線での使い方



- 1. きらびやかモバイルの使い方
- 2. きらびやかモバイルの使い方
- 3. きらびやかモバイルの使い方
- 4. きらびやかモバイルの使い方
- 5. きらびやかモバイルの使い方
- 6. きらびやかモバイルの使い方
- 7. きらびやかモバイルの使い方
- 8. きらびやかモバイルの使い方
- 9. きらびやかモバイルの使い方
- 10. きらびやかモバイルの使い方

## 受話器をとってかけます



### 外線発信 1

外線の相手へ電話をかけるときの操作です。

## 発信のしかた

(例) 3758-2111にダイヤルします。

	受話器をとります。	外線
	相手の電話番号をダイヤルします。	外線 37582111 例：3758-2111をダイヤル
	お話しください。	外線 37582111

## メモ

- 本機は受話器を上げたときに外線につながるよう設定されています。
- 受話器を上げたときに内線につながるよう設定されているときは、1の操作のあとにランプの消えている「外線」ボタンを押してください。
- 受話器を上げたときに内線につながるよう設定されているときに、単独電話機(普通の電話機)から外線へ電話をかけるときは、1の操作のあとに0をダイヤルしてください。
- あらかじめデータ設定をしておくことにより、自動的にNCC\* 回線を使用して電話をかけることができます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。  
\* NCC：第二電々、日本テレコム、日本高速通信などのNTT以外の通信事業者
- NCC回線で電話をかけたときに、回線が混んでいてかからないときなどは、以下の操作を行って通常のNTT回線のみを使用して電話をかけることができます。
  1. 電話をいったん切ります。
  2. 未使用の「外線」ボタンを押します。「ツー」音が聞こえます。
  3. 同じ「外線」ボタンをもう一度押します。
  4. ダイヤルし直します。



## 受話器をとらずに電話をかけます

### 外線発信

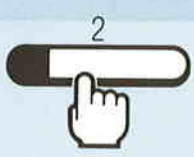




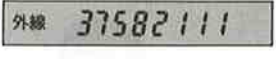
外線の相手へ電話をかけるときの操作です。

PART 2

外線での使いかた

### 発信のしかた

(例) 3758-2111にダイヤルします。

	<p><b>1</b></p> <p>受話器をとらずにランプの消えている <b>外線</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ スピーカから「ツー」音が聞こえ、外線ランプが緑色に、スピーカランプが赤色に点灯します。</p>	
	<p><b>2</b></p> <p>相手の電話番号をダイヤルします。</p>	
	<p><b>3</b></p> <p>相手が出たら、受話器をとってお話ください。</p>	

### メモ

- 相手が話し中あるいは電話に出ないときは、**スピーカ** ボタンを押して電話を切ってください。
- 間違ってダイヤルしたときは、**フック** ボタンを押してもう一度ダイヤルしてください。
- 操作1の代わりに **スピーカ** ボタンを押して外線に電話をかけることもできます。



## ボタン1つで電話をかけます

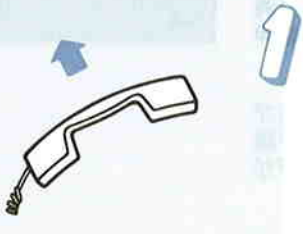
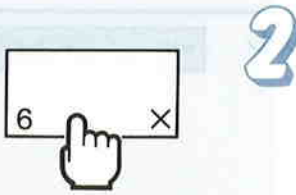



### ワンタッチダイヤル

あらかじめ相手先の電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておけば、このボタンを1回押すだけでダイヤルできます。

### 発價のしかた

(例) ワンタッチダイヤルボタン6に登録されている3758-2111にダイヤルします。



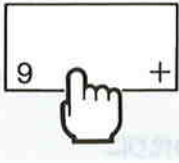


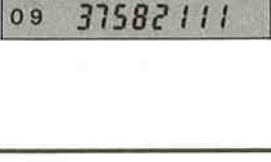

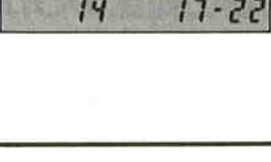
	受話器をとります。	外線
	ワンタッチダイヤルボタンを押します。	外線 37582111
	相手が出たら、お話しください。	外線 37582111

### メモ

- 受話器をとらずにダイヤルすることもできます。その場合は操作1の代わりに、ランプの消灯している「外線」ボタンまたは「スピーカ」ボタンを押します。
- プログラマブルキー、外線の接続されていない「外線」ボタンをワンタッチダイヤルボタンとして使用することができます。
- ワンタッチダイヤルボタンを複数押してダイヤルすることができます。また短縮ダイヤルや通常のダイヤルと組み合わせてダイヤルすることができます。20桁以上の長い電話番号をダイヤルするときや市外局番だけのワンタッチダイヤルを作って組み合わせると便利です。

## 登録のしかた

(例) 3758-2111をワンタッチダイヤルボタン9に登録します。

	<p>1 <b>設定</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ <b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p>2 ワンタッチダイヤルボタン9を押します。</p>	
	<p>3 登録したい相手の電話番号をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	
	<p>4 <b>設定</b> ボタンを押します。</p>	

## メモ

- 登録できる電話番号は20桁までです。
- 続けて他のワンタッチダイヤルを登録する場合は、2～3の操作を繰り返します。
- 本機が構内交換機（PBX）に接続されているときは電話番号の前に0などの外線呼び出し番号をつけて登録しなければなりません。

09 037582111

└─ 外線呼び出し番号

- 外線ボタンを押すと、電話番号の間にポーズを入れることができます。ポーズは3秒間で、“-”で表示されます。
- PBXに接続されている場合は、自動的にポーズが入ります。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げします。

## 変更のしかた

登録されている電話番号を変更したい場合は、「登録のしかた」の3の操作の前に **フック** ボタンを押して登録した内容を取消してから正しい電話番号を入力します。

## 取消しのしかた

登録した内容を取消す場合は、「登録のしかた」の3の操作の代りに **フック** ボタンを押してください。

## 内容の確認のしかた

登録した内容を確認する場合は、「登録のしかた」の3の操作を除いてください。

### メモ

- 複数の登録・変更・取消し・内容の確認を一度に行なう場合は、2～3の操作を繰り返してください。

# 短縮ダイヤルで電話をかけます



## 短縮ダイヤル

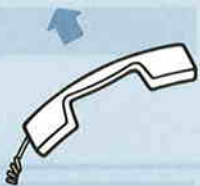



あらかじめ相手先の電話番号を00～89の短縮ダイヤルに登録しておけば、この2桁の番号を押すだけでダイヤルできます。

PART  
2

外線での  
使いかた

## 発信のしかた

(例) 短縮ダイヤル82に登録されている3758-2111にダイヤルします。











	1	受話器をとります。	外線
	2	[短縮] ボタンを押します。	短縮
	3	短縮番号をダイヤルします。	外線 37582111 登録されている電話番号が表示されます。
	4	相手が出たら、お話しください。	外線 37582111

## メモ

- 00～79の短縮ダイヤルに登録してある電話番号（これをシステム短縮ダイヤルと呼びます）は全電話機共通で、80～89の短縮ダイヤルに登録してある電話番号（これを電話機別短縮ダイヤルと呼びます）は各電話機それぞれ独自のものです。
- システム短縮ダイヤルの登録は、マスター電話機からしかできません。
- PB信号を発信することができる単独電話機は、システム短縮ダイヤルを使って電話をかけることができます（例：短縮番号70をダイヤルするときは、☎70）。ただし電話機別短縮ダイヤルは使えません。
- 受話器をとらずにダイヤルすることもできます。その場合は操作1の代わりに、ランプの消灯している [外線] ボタンまたは [スピーカ] ボタンを押します。

## 登録のしかた

(例) 3758-2111を短縮ダイヤル82に登録します。

	1	<b>設定</b> ボタンを押します。 → <b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。	
	2	<b>短縮</b> ボタンを押します。	
	3	短縮ダイヤル82をダイヤルボタンを使って入力します。	
	4	相手の電話番号をダイヤルボタンで入力します。	
	5	<b>設定</b> ボタンを押します。	

### メモ

- 本機が構内交換機（PBX）に接続されているときは電話番号の前に0などの外線呼び出し番号をつけて登録しなければなりません。

短82 037582111

外線呼び出し番号

- 続けて他の短縮ダイヤルに登録する場合は、2～4の操作を繰り返します。
- 外線ボタンを押すと、電話番号の間にポーズを入れることができます。ポーズは3秒間で、“—”で表示されます。PBXに接続されている場合は自動的にポーズが入ります。
- システム短縮ダイヤル（→P.26）の登録は、マスター電話機（P.8）からしかできません。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、**スピーカ** ボタンを押します。

## 変更のしかた

登録されている電話番号を変更したい場合は、「登録のしかた」の4の操作の前に **フック** ボタンを押して登録した内容を取消してから正しい電話番号を入力します。

## 取消しのしかた

登録した内容を取消す場合は、「登録のしかた」の4の操作の代わりに **フック** ボタンを押してください。

## 内容の確認のしかた

登録した内容を確認する場合は、「登録のしかた」の4の操作を除いてください。

### メモ

- 複数の登録・変更・取消し・内容の確認を一度に行なう場合は、2～4の操作を繰り返してください。



## 最後にかけた相手に ダイヤルします



### リダイヤル

最後にダイヤルした相手番号が自動的に記憶されます。もう一度同じ相手にかけるときに使くと、ダイヤルする手間が省けます。

### 発信のしかた

	1 受話器をとります。	外線
	2 「リダイヤル」 ボタンを押します。	外線 37582111 最後にダイヤルした電話番号が表示されます。
	3 相手が出たら、お話しください。	外線 37582111

### メモ

- リダイヤルに記憶される番話番号は20桁までです。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルでかけた番号もリダイヤルできます。
- 受話器をとらずにダイヤルすることもできます。その場合は操作1の代わりに、ランプの消灯している「外線」ボタンまたは「スピーカー」ボタンを押します。
- 内線にリダイヤルを使って電話をかけることはできません。



# 通話中に電話番号を記憶させて あとでかけます






## メモダイヤル [F23]

通話中に [メモダイヤル] ボタンを押して、本機に電話番号を記憶させておきます。電話を切った後で [メモダイヤル] ボタンを押すと、その相手先に電話がかけられます。

PART  
2

外線での  
使いかた




## メモのしかた

(例) 通話中に、“3758-2111”をメモします。		
	1	通話中に [メモダイヤル] ボタンを押します。
	2	メモする電話番号をダイヤルボタンを使って入力します。 → [メモダイヤル] ボタンのランプが点灯します。
	3	通話を終了したら受話器を戻します。

## メモ

- メモできる電話番号は20桁までです。
- メモできるのは外線の電話番号だけです。
- 操作2で間違えて電話番号をメモした場合は、[メモダイヤル] ボタンを押して入力しなおしてください。
- メモダイヤルに記憶させた電話番号を消去するときは、[フック] ボタンを押してから [メモダイヤル] ボタンを押します。メモが消去されると [メモダイヤル] ボタンのランプが消灯します。

## 発信のしかた

(例) メモした相手“3758-2111”に電話をかけます。		
	1	受話器をとります。
	2	ランプが点灯している [メモダイヤル] ボタンを押します。
	3	相手が出たら、お話をください。



## 外線の予約をします



### 外線予約 [F20]

空いている外線が無いときは、予約しておけば、外線が空き次第呼び出してくれます。

### 予約のしかた

すべての外線が使用中。

<p>キャンブオン</p> <p>1</p>	<p>キャンブオン ボタンを押します。</p> <p>① キャンブオンボタンのランプが点灯します。</p>	<p>予約中 17-22</p>
<p>ポロポロ</p> <p>2</p>	<p>外線が空くと「ポロロ・ポロロ」音で知らせてくれます。</p>	<p>発信可</p>
<p>3</p>	<p>受話器をとってダイヤルしてください。</p>	<p>外線</p>

### メモ

- 「ポロロ・ポロロ」音は20秒間鳴ります。20秒以内に受話器をとらない場合は予約は取り消されます。
- 受話器をあげたまま待っていた場合は、操作2で外線が空くと「ツー」音が聞こえます。

### 外線予約の取消し

<p>フック</p> <p>1</p>	<p>フック ボタンを押します。</p>	<p>取消</p>
<p>キャンブオン</p> <p>2</p>	<p>キャンブオン ボタンを押します。</p> <p>① 外線予約が取消されました。</p>	<p>14 17-22</p>

## 本機が自動的に再ダイヤルします



### オートリPEATダイヤル

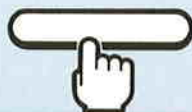
電話をかけたとき相手が話し中または応答しないときは、本機が自動的に再ダイヤルして相手呼び出します。

PART 2

外線での使いかた

#### ダイヤルした相手が話し中または応答しないとき。

リダイヤル



1

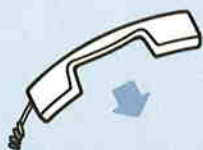
**リダイヤル** ボタンを押します。

⇒ 確認音「ツー・ツー・ツー」が鳴ります。

外線 37582111



再送待 37582111



2

受話器をもどしてください。

⇒ 1分間隔で10回まで自動的に繰返し相手呼び出します。

再送待 17-22



再送 37582111



3

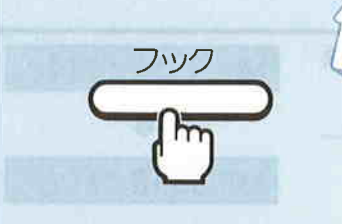

相手が出たら、受話器をとってお話してください。

外線 37582111

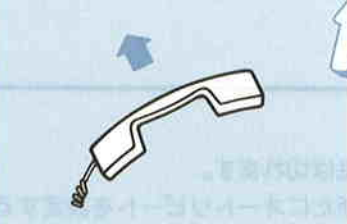
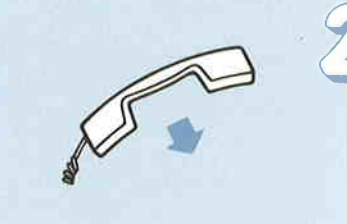
#### メモ

- 相手が出て30秒以内に受話器をとらない場合は、自動的に電話は切れます。
- 一台の電話機で設定できるオートリPEATの数は1カ所です。新たにオートリPEATを設定すると前の設定は自動的に取消されます。

### 待機状態のときの オートリピートダイヤルの取消し

 <p>フック</p>	<p>1</p> <p>フック ボタンを押します。</p>	<p>取消</p>
 <p>リダイヤル</p>	<p>2</p> <p>リダイヤル ボタンを押します。</p> <p>⇒ オートリピートダイヤルが取り消されました。</p>	<p>14 17-22</p>

### ダイヤル中、呼出し中の オートリピートダイヤルの取消し

 <p>1</p>	<p>ダイヤル中または呼出し中に受話器を上げます。</p>	<p>外線 37582111</p>
 <p>2</p>	<p>受話器をもどします。</p> <p>⇒ オートリピートダイヤルが取消されました。</p>	<p>14 17-22</p>

## 外線からかかってきた電話を受けます



### 外線応答1

外線から電話がかかってくると着信音が鳴り、外線ランプが赤色に点滅します。

特別な操作は必要ありません。  
そのまま受話器をとってお話しください。

## 着信音が鳴っていない電話機で受けます



### 外線応答2

着信鳴動指定または集中着信のデータ設定がされている場合は、着信音が鳴る電話機と鳴らない電話機に分れます。着信音が鳴っていない電話機からでも電話を受けることができます。

## 応答のしかた

	<p>1 受話器をとります。</p>	<p>外線</p>
	<p>2 <b>外線</b> ボタン(赤色の速い点滅)を押します。</p> <p>⇒ 外線ランプが緑色に変わります。</p>	<p>外線</p>
	<p>3 お話しください。</p>	<p>外線</p>

### メモ

- 単独電話機の場合は、2の操作の代わりにフッキング(→P.45)を行い、応答する**外線**ボタンの番号(1~4)をダイヤルします。

## 留守のとき音声メッセージで答えます



オプション

### 留守応答

外線の着信モードを“音声メッセージ応答”に切替えることにより、外線からかかってきた電話に対してメッセージで応答することができます。

### 切替のしかた

(例) 外線2の着信モードを“音声メッセージ応答1”に切替えます。

	<p><b>設定</b> ボタンを押します。</p> <p><b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	<p>設定</p>
	<p>留守応答の設定をする <b>外線</b> ボタンを押します。</p>	<p>モード 0</p>
	<p>着信モード(1~4)をダイヤルボタンを使って入力し、メッセージを選択します。</p>	<p>モード 1</p>
	<p><b>設定</b> ボタンを押します。</p>	

### メモ

- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、3の操作でダイヤルボタンの◎を押します。
- この留守応答の設定は、必要に応じて外線ごとに設定します。ただし、メッセージは全外線に共通で、外線ごとに異なったメッセージを指定することはできません。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか **スピーカ** ボタンを押します。

# 留守応答のときの音声メッセージを録音します



オプション

## メッセージ録音

留守応答のメッセージを受話器から録音することができます。

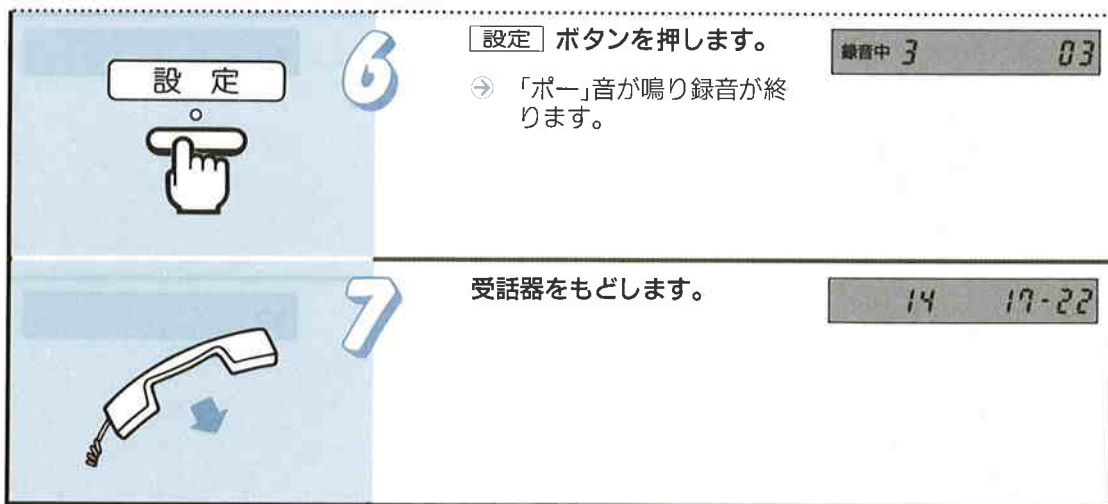
PART 2

外線での使いかた

## 録音のしかた

<p>1</p>	<p>設定 ボタンを押します。</p> <p>⇒ 設定 ボタンのランプが点灯します。</p>	
<p>2</p>	<p>受話器をあげます。</p>	
<p>3</p>	<p>ダイヤルボタンの⑤を押します。</p>	
<p>4</p>	<p>録音したいメッセージ番号(1~4)をダイヤルボタンを使って入力します。</p> <p>⇒ 予告音「ポー」が鳴り、録音が始まります。</p>	<p>メッセージ番号 残り時間(秒)</p>
<p>5</p>	<p>受話器がマイク代りになり、録音されます。録音時間は16秒間です。16秒過ぎると再度「ポー」音が鳴ります。この場合は、操作7に進んでください。</p> <p>⇒ 録音が16秒に達しない場合は、「ポー」音を待たずに操作6に進めます。</p>	<p>メッセージ番号 残り時間</p>

操作は次のページに続きます。



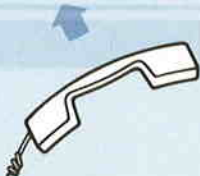




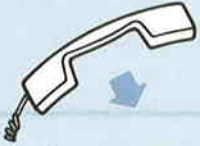



## メモ

- 着信モード（→P. 93）が1～4（留守応答）に設定されているときは録音はできません。
- 既に録音されている番号に再録音する場合は一度メッセージ内容を消去する必要があります。取消しのしかた（→P. 39）
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、**[スピーカ]** ボタンを押します。

メッセージ録音を再生するには着信モードを一度別のモード(0、5、6、7)に移す必要があります。(→着信モード切替P.93)

## 再生のしかた

	<p><b>1</b> <b>設定</b> ボタンを押します。</p> <p>→ <b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p><b>2</b> 受話器をあげます。</p>	
	<p><b>3</b> ダイヤルボタンの⑥を押します。</p>	
	<p><b>4</b> 再生したいメッセージ番号(1~4)をダイヤルボタンで押します。</p> <p>→ メッセージが再生されます。メッセージは繰返し再生されます。</p>	
	<p><b>5</b> 受話器をもどします。</p>	









### メモ

- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、**スピーカ** ボタンを押します。



メッセージ録音を消去するには着信モードを一度別のモード(0、5、6、7)に移す必要があります。(→着信モード切替P.93)

## 取消しのしかた

 <p>1</p>	<p><b>設定</b> ボタンを押します。</p> <p>⑤ <b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。</p> 
 <p>2</p>	<p>ダイヤルボタンの⑦を押します。</p> 
 <p>3</p>	<p>取消したいメッセージ番号(1~4)をダイヤルボタンで押します。</p> 
 <p>4</p>	<p><b>設定</b> の下の選択ボタンを押すとメッセージが自動的に消去されます。</p> 

### メモ

○ 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、「スピーカ」ボタンを押します。

## 通話中の外線を保留します



### 外線システム保留

外線と通話中の電話を保留します。

PART 2

外線での使いかた

### 保留のしかた

外線と通話中。	
	<p><b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。相手先にはメロディが流れます。</p>
	<p><b>受話器をもどします。</b></p> <p>⇒ 保留ランプが消えます。</p>

### メモ

- 保留メロディには2種類あり、データ設定によって選択できます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- 単独電話機の場合は、フッキング（→P.45）を行って通話を保留できます。このとき、受話器は上げた状態にしておいてください。

### 保留中の相手と再び話すとき

	<p>緑色に点滅している <b>外線</b> ボタンを押します。</p>
	<p><b>受話器をとります。</b></p>
	<p><b>お話しください。</b></p>

### メモ

- 保留した通話を他の電話機でとるとき（→外線・内線転送1 P.46）
- 1台の電話機で複数の通話を保留することができます。
- 単独電話機の場合は、受話器を上げた状態でフッキング（→P.45）を再度行ってください。

# 自分の電話機だけで 保留します



## 外線自己保留 **F15**

外線と通話中の電話を保留します。保留した電話は他の電話機でとることはできません。また、他の電話機に転送することもできません。

## 保留のしかた

外線と通話中。

<p>自己保留</p> <p>1</p>	<p><b>自己保留</b> ボタンを押します。 <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">内線</span></p> <p>➡ 外線ボタンが緑色に点滅し、相手先にはメロディが流れます。</p>
<p>2</p>	<p>受話器をもどします。 <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">14 17-22</span></p>

## 保留中の相手と再び話すとき

<p>2</p> <p>1</p>	<p>緑色に点滅している <b>外線</b> ボタンを押します。 <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">外線</span></p>
<p>2</p>	<p>受話器をとります。 <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">外線</span></p>
<p>3</p>	<p>お話しください。 <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">外線</span></p>



## あらかじめ設定しておいた外線の 相手先に自動転送します



データ設定

### 外線・外線転送1

外線の着信モードを“転送電話”に切替えることにより、不在時などにかかってきた外線からの電話を自動的に転送します。

### 切替のしかた

(例) 外線2の着信モードを“転送電話”に切替えます。

	1	<p>設定 ボタンを押します。</p> <p>→ 設定 ボタンのランプが点灯します。</p>	<p>設定</p>
	2	<p>転送電話の設定をする 外線 ボタンを押します。</p>	<p>モード 0</p>
	3	<p>転送電話の着信モード (6) をダイヤルボタンを使って入力します。</p>	<p>モード 6</p>
	4	<p>設定 ボタンを押します。</p>	

### メモ

- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、3の操作でダイヤルボタンの◎を押します。
- 転送先の電話番号は、マスター電話機を使ってあらかじめ短縮ダイヤルの00・01・02・03に登録しておく必要があります。外線1にかかってきた電話は短縮ダイヤル00に、外線2は01、外線3は02、外線4は03にそれぞれ対応します。
- 転送先は外線ごとに設定することができます。設定については、工事保守店にご相談ください。
- この転送電話の設定は、必要に応じて外線ごとに設定します。

- 電話を転送するための外線が空いてない場合は、外からの電話には自動応答しません。
- この機能は、転送先へ発信する外線が直接NTT回線につながっているときのみ使うことができます。構内交換機（PBX）またはNCCアダプタ等に接続されている場合は、工事保守店へご相談ください。
- 30分で警告音「ポー」が鳴ります。警告音が鳴ると、30秒後に電話は切れます。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか **スピーカー** ボタンを押します。



## 外線の相手先に転送します



### 外線・外線転送2

外線と通話中の電話を別の外線へ転送します。

### 転送のしかた

外線と通話中。	
<p>1</p>	<p>「保留」ボタンを押します。</p> <p>→ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p>
<p>2</p>	<p>ランプの消えている「外線」ボタンを押します。</p>
<p>3</p>	<p>転送したい相手の電話番号をダイヤルします。</p>
<p>4</p>	<p>相手がでたら受話器をもどします。</p> <p>→ 転送されました。</p>

### メモ

- 転送後30分で警告音「ポー」が鳴ります。警告音が鳴ると30秒で電話は切れます。
- 単独電話機の場合は「保留」ボタンの代わりにフッキング\*を行い、0をダイヤルしてから相手の電話番号をダイヤルします。  
\*フッキングとはフックスイッチを軽く(0.2~0.8秒)押すことです。



- この機能を使うには、発信側、転送先の少なくともどちらかの外線がNTTかCES回線である必要があります。
- 通話中の外線を別の外線にかかってきた通話や保留されている外線通話に転送するように設定することができます。設定については、工事保守店にご相談ください。
- 単独電話機のフッキングは、工場出荷時システム保留になります。データ設定によりフッキング送出にしたり、フッキングのあとに特定の番号をダイヤル(0:システム保留、1:フッキング送信)してシステム保留/フッキング送出を選択することができます。詳しくは工事保守店にご相談ください。

# 近くにいる内線の人に 転送します



## 外線・内線転送 1

外線と通話中の電話を、別の内線へ転送します。転送する相手が近くにいる場合の転送です。

## 転送のしかた

外線と通話中。	
	<p><b>1</b> <b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ相手先にはメロディが流れます。外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。</p>
	<p><b>2</b> <b>受話器をもどします。</b></p> <p>⇒ 保留ランプが消えます。</p>
	<p><b>3</b> 転送したい相手に口頭で伝えます。</p>

## メモ

説明は次のページに続きます。

○ 転送された人が電話にできるときの操作は次のページを参照してください。







## 応答のしかた

	<p>1</p> <p>赤色に点滅している <b>外線</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 転送されました。</p> <p style="text-align: right;">外線</p>
	<p>2</p> <p>受話器をとります。</p> <p style="text-align: right;">外線</p>
	<p>3</p> <p>お話しください。</p> <p style="text-align: right;">外線</p>

### メモ

- 単独電話機の場合は、受話器をとってフッキング（→P.45）を行い、応答する **外線** ボタンの番号（1～4）をダイヤルします。

# 離れている内線の人に 転送します



## 外線・内線転送②

外線と通話中の電話を、別の内線へ転送します。転送する相手が離れている場合の転送です。

PART 2

外線での使いかた

## 転送のしかた

外線と通話中。	
	<p><b>1</b> <b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、相手先にはメロディが流れます。外線ランプが緑色に点滅し、保留ランプが赤色に点灯します。</p>
	<p><b>2</b> 転送したい相手の内線番号をダイヤルします。</p> <p>⇒ 保留ランプが消えます。</p>
	<p><b>3</b> 相手がでたら受話器をもどします。</p>

## メモ

- 転送先が不在や話し中のとき、または番号を間違えてダイヤルしたときは、もう一度 **外線** ボタン（緑色に点滅）を押すともとの相手と通話できます。
- 転送先が不在や話し中で、他の内線に転送するときは、**フック** ボタンを押してから内線番号をダイヤルしてください。
- 転送先が話し中でなければ、転送先の内線番号をダイヤルした後相手を確認しないで受話器をもどすことができます。  
このとき、30秒以内に転送先が応答しないと、呼び返し音が鳴ります。
- 単独電話機（普通の電話機）の場合は、**保留** ボタンのかわりにフッキング（→P.45）をして内線番号をダイヤルしてください。  
転送先が不在または話し中のときはもう一度フッキングすると、もとの相手と通話ができます。

# ファクスへ転送します



## ファクス転送

外線からかかってきた電話をファクスに転送します。

### 転送のしかた

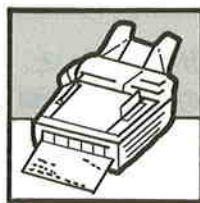
	<p><b>1</b></p> <p>相手がファクスである「ピー・ピー」音を確認します。</p> <p>(相手が手動送信の場合は相手にファクスの送信ボタン(スタートボタン)を押してもらいます。)</p>	<p>外線</p>
	<p><b>2</b></p> <p><b>ファクス</b> ボタンを押します。</p> <p>➡ ファクスランプが赤色に点滅し、通信が始まると点灯に変わります。</p>	<p>外線</p>
	<p><b>3</b></p> <p>受話器をもどします。</p>	<p>14 17-22</p>

### メモ

- ファクスが使用中（ファクスランプが赤色の点灯）の場合は、ファクスには転送できません。
- 2の操作でファクスランプが赤色に点滅している間は、使用している **外線** ボタン（緑色の点灯）を押して転送を中止することができます。ファクスランプが赤色の点灯に変わった後は、転送を中止できません。また、受話器をもどした後も転送を中止できません。



FAXに転送



ファクス  
赤色の点滅

ファクス  
赤色の点灯



ちづるせいでま部屋へ案内

ちづるせいでま部屋へ案内

PART

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8

# 内線での使い方





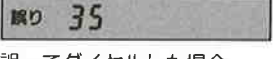


## 内線へ電話をかけます



### 内線発信

内線の相手へ電話をかけるときの操作です。

### 発信のしかた 1

	<p>1</p> <p><b>内線</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。また、「内線」ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p>2</p> <p>内線番号をダイヤルします。</p>	  <p>誤ってダイヤルした場合</p>
	<p>3</p> <p>相手が出たら受話器をとって お話しください。</p>	

### メモ

○ 誤ってダイヤルしたときは、「フック」ボタンを押してからもう一度ダイヤルし直してください。



## データ設定

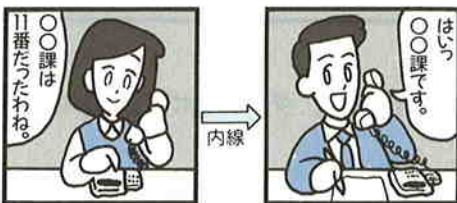
受話器をあげたとき内線に直接継がるように  
設定されている場合 (→外線発信1 P.21)

## 発信のしかた2

<p>1</p>	<p>受話器をあげるかまたは 「スピーカー」ボタンを押します。</p> <p>⇒ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p> <p>内線</p>
<p>2</p>	<p>内線番号をダイヤルします。</p> <p>呼出中 18</p> <p>取り 35</p> <p>誤ってダイヤルした場合</p>
<p>3</p>	<p>相手が出たら(1で「スピーカー」ボタンを押した場合は受話器をとって)お話しください。</p> <p>内線 18</p>

PART 3

内線での使いかた



## 音声で相手を呼出します



### 音声呼出

こちら側の声を相手機(内線)のスピーカから出して相手を呼出します。

### 呼出のしかた

	<p><b>1</b> <b>内線</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。また、「内線」ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p><b>2</b> 内線番号をダイヤルします。</p>	
	<p><b>3</b> ダイヤルボタンの①を押します。</p> <p>⇒ 相手機とこちら側の両方に予告音「ポー」が鳴ります。</p>	
	<p><b>4</b> 受話器をとって呼び出しをしてください。</p>	

### メモ

- 呼出音で相手を呼出している途中で音声呼出しに切替えたいときは、ダイヤルボタンの①を押してください。
- 音声呼出で単独電話機を呼出すことはできません。
- 単独電話機から音声呼出を行う場合は、内線発信状態で操作2以降の操作を行います。なお、内線発信状態にするには、あらかじめデータ設定が必要です。詳しくは工事保守店にご相談ください。

# 内線の相手を一斉に呼出します



## 内線一斉呼出

こちら側の声を全ての内線電話機のスピーカから出して全員を一斉に呼出します。

## 呼出のしかた

	<p>1 受話器をとります。</p>	<p>外線</p>
	<p>2 「一斉」 ボタンを押します。          ⇒ 未使用の内線電話機全てのスピーカから予告音「ポー」が鳴ります。</p>	<p>一斉</p>
	<p>3 呼出しをしてください。</p>	<p>一斉 15          他の電話機には呼出しをしている人の内線番号が表示されます。</p>

## メモ

○ 一斉呼出しをしても着信中や通話中の電話機に呼出しはできません。

## 応答のしかた

	<p>1 受話器をとります。</p>	<p>外線</p>
	<p>2 ランプが点灯している「一斉」ボタンを押します。</p>	<p>内線 15</p>
	<p>3 お話してください。</p>	<p>内線 15</p>

PART 3

内線での使いかた



## 相手の電話機に自分の内線番号を表示させます



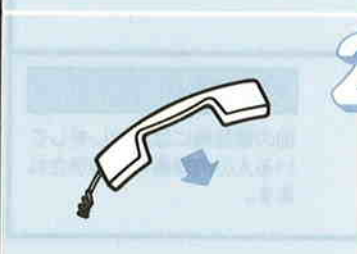



### メッセージウエイト

電話をかけた相手が呼出しに応答しない場合に、自分の内線番号を相手のディスプレイに表示して、相手に電話をかけたことを知らせることができます。

### 設定のしかた

ダイヤルした相手が応答しないとき。

	<p>ダイヤルボタンの@を押します。</p> <p>⇒ 確認音「ツーツー・ツーツー」が鳴ります。</p>	
	<p>受話器をもどします。</p>	

#### メモ

- メッセージウエイトを取消す場合は、もう一度相手を呼出してください。相手のディスプレイから自分の内線番号が消えます。

### 相手側のディスプレイ表示


<p>呼出しをした相手の内線番号と現在の時間が表示されます。</p>

#### メモ

- 呼出しを受けた側が、呼出しをした側を呼出すとメッセージは取消されます。
- メッセージウエイトは最初に受けたものに限ります。
- メッセージウエイトは1カ所の相手にしかできません。

# 話し中の相手と呼出します



## 話中呼出

相手が他の人と話し中のときでも、こちら側から相手と呼出し、通話することができます。

## 呼出のしかた

ダイヤルした相手が話し中のとき。	
	<p>相手が話し中である「ツーツー」音を確認します。</p> <p>通話中 18</p>
	<p>ダイヤルボタンの③を押します。</p> <p>呼出中 18</p> <p>⇒ 相手が呼出されます。</p>

## メモ

○ 呼出しができるのは相手が内線と通話中のときに限ります。

## 応答のしかた

	<p>スピーカから呼出音「ツーツー」が聞こえます</p> <p>内線 15 12</p> <p>内線12と通話中に内線15から呼出しを受けた場合</p>
	<p><b>フック</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 呼出した人と話しができます。もう一方の相手には保留メロディが流れます。</p> <p>内線 12 15</p> <p>保留中の相手 通話中の相手</p>
	<p>もう一度 <b>フック</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 最初の相手と通話できます。</p> <p>内線 15 12</p> <p>保留中の相手 通話中の相手</p>

## メモ

- **フック** ボタンを押すたびに相手を変えて通話できます。
- 単独電話機（普通の電話機）では呼出しを受けられません。
- フッキング（→ P.45）を行っても同様の操作をすることができます。

## 相手が話し中のとき に通話予約します




内線予約 **F20**

相手が話し中の場合でも、話しが終わりしだい自動的に呼出します。

### 予約のしかた

ダイヤルした相手が話し中のとき。

	<p>1 相手が話し中である「ツ・ツ」音を確認します。</p>	<p>通話中 18</p>
	<p>2 <b>キャンブオン</b> ボタンを押します。                  確認音「ツ・ツ・ツ・ツ」が鳴ります。また、<b>キャンブオン</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	<p>終話待 18</p>
	<p>3 受話器をもどします。</p>	<p>終話待 17-22</p>
	<p>4 相手の話しが終わると「ポロロ・ポロロ」音が鳴ります。  <b>キャンブオン</b> ボタンのランプが早く点滅します。</p>	<p>終話</p>
	<p>5 受話器をとります。                  受話器から「プロロロ」音が聞こえます。このとき、相手側を呼出しています。</p>	<p>呼出中 18</p>



6


相手が出たらお話しください。

内線
18

**メモ**

- 内線予約は1ヵ所の相手にしかできません。
- 5の操作で15秒間受話器をとらないと予約は取り消されます。
- 4の操作で受話器をあげたまま相手の終話を持つこともできます。その場合は、操作4の「ポロロ・ポロロ」音はありません。
- 5の操作で相手が再度受話器をとった場合は、「ポロロ・ポロロ」音は止まり、終話待の状態にもどります。
- 転送などで予約した相手から呼出しがあって応答した場合と、予約した相手を出して通話した場合は予約は取消されます。


**予約の取消し**



1

**フック** ボタンを押します。

取消



2

**キャンブオン** ボタンを押します。

→ **キャンブオン** ボタンのランプが消灯します。

14
17-22

## 内線からかかってきた 電話を受けます



### 内線応答

内線から電話がかかってくると、着信音「ブルルッ・ブルルッ」が鳴ります。

特別な操作は必要ありません。  
そのまま受話器をとってお話してください。



## 他の電話機にかかってきた 内線電話を受けます



### 内線代理応答

着信音が鳴っていない電話機でも電話を受けることができます。

## 応答のしかた

	<p><b>代理応答</b> ボタンを押します。</p>	<p>内線 <b>12</b></p> <p>電話をかけてきた相手の内線番号が表示されます。</p>
	<p>受話器をとってお話してください。</p>	<p>内線 <b>12</b></p>

## 内線と通話中の 電話を保留します



### 内線システム保留

内線と通話中の電話を保留します。保留中の電話は他の内線電話機でもとることができます。

### 保留のしかた

内線と通話中。	
	<p><b>1</b> <b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>保留ランプが赤色に点灯します。相手先にはメロディが流れます。</p>
	<p><b>2</b> 受話器をもどします。</p>

#### メモ

- 保留できるのはシステム全体で1通話に限ります。
- すでに保留している内線番号があるときは、保留ランプが赤色に点滅しています。
- 単独電話機で保留を行うときは、**保留**ボタンを押す代わりにフッキング(→P.45)を行って、受話器を上げた状態にしておいてください。

### 保留中の相手と再び話すとき

	<p><b>1</b> もう一度 <b>保留</b> ボタン (赤色に点灯) を押します。</p>
	<p><b>2</b> 受話器をとります。</p>
	<p><b>3</b> お話ください。</p>

#### メモ

- 単独電話機で保留中の相手と応答するときは、受話器を上げた状態でフッキングをもう一度行ってください。

## 近くにいる内線の人に 転送します



### 内線・内線転送 1

内線と通話中の電話を、別の内線へ転送します。転送する相手が近くにいる場合の転送です。

### 転送のしかた

内線と通話中。	
<p>1</p>	<p><b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>→ 保留ランプが赤色に点灯します。相手先にはメロディが流れます。</p>
<p>2</p>	<p>受話器をもどします。</p>
<p>3</p>	<p>転送したい相手に口頭で伝えます。</p>

### メモ


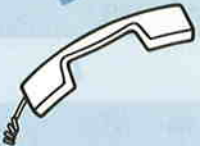

説明は次のページに続きます。

- 単独電話機から転送を行う場合は、「保留」ボタンを押す代わりにフッキング (P.45) を行って受話器を上げた状態にしておいてください。転送先の相手が出たら受話器をもどします。





## 応答のしかた

 <p>1</p>	<p>赤色に点滅している <b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 転送されました。</p>	<p>内線 18</p>
 <p>2</p>	<p>受話器をとります。</p>	<p>内線 18</p>
 <p>3</p>	<p>お話してください。</p>	<p>内線 18</p>

### メモ

- 保留・転送ができるのはシステム全体で1通話に限ります。
- 単独電話機（普通の電話機）の場合は、保留に応答することができません。



## 離れている内線の人に 転送します



### 内線・内線転送②

内線と通話中の電話を別の内線へ転送します。転送する相手が離れている場合の転送です。

### 転送のしかた

内線と通話中。	
	<p><b>1</b></p> <p><b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>→ 保留ランプが赤色に点灯します。相手先にはメロディが流れます。</p>
	<p><b>2</b></p> <p>転送したい相手の内線番号をダイヤルします。</p>
	<p><b>3</b></p> <p>相手が出たら受話器をもどします。</p> <p>→ 転送されました。</p>

### メモ

- 転送先が不在や話し中のときは、**フック** ボタンを押してから **保留** ボタンを押すもとの相手と通話できます。また、番号を間違えてダイヤルしたときは、**保留** ボタンを押すもとの相手と通話できます。
- 転送先が不在や話し中で、他の内線に転送するときは、**フック** ボタンを押してから内線番号をダイヤルしてください。
- 転送先が話し中でなければ、転送先の内線番号をダイヤルした後相手を確認しないで受話器をもどすことができます。  
このとき、30秒以内に転送先が応答しないと、呼び返し音が鳴ります。
- 単独電話機（普通の電話機）の場合は、**保留** ボタンのかわりにフッキング（→P. 45）をして内線番号をダイヤルしてください。  
転送先が不在または話し中のときはもう一度フッキングすると、もとの相手と通話ができます。
- 保留・転送できるのは、システム全体で1通話に限ります。





# 内線通話を外線へ転送します



## 内線・外線転送

内線通話を外線へ転送します。

## 転送のしかた

内線と通話中。	
	<p>1 <b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p> <p>内線</p>
	<p>2 ランプの消えている <b>外線</b> ボタンを押します。</p> <p>外線</p>
	<p>3 転送したい相手の電話番号をダイヤルします。</p> <p>外線 37582111</p>
	<p>4 相手が出たら受話器をもどします。</p> <p>⇒ 転送されました。</p> <p>14 17-22</p>

PART 3  
内線での使いかた

## メモ

- 保留・転送できるのは、システム全体で1通話に限ります。
- 単独電話機（普通の電話機）の場合は、**保留** ボタンを押す代わりにフッキング（→P. 45）を行い、0をダイヤルしてから相手の電話番号をダイヤルしてください。



1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8

PART

# 外・内線共通の使いかた

## 3人で同時に通話します






オプション

データ設定

会議通話 **F17**

内線・外線を問わず2者間の通話にもう一人加えて、3者による通話ができます。

通話中。

	<p><b>1</b></p> <p><b>保留</b> ボタンを押します。</p> <p>→ 受話器から「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、保留ランプが赤色に点灯(内線を保留)または外線ランプが緑色に点滅(外線を保留)します。相手先にはメロディが流れます。</p>	<p>内線</p>
	<p><b>2</b></p> <p>加えたい相手の電話番号をダイヤルします。</p> <p>(外線へ電話をかける場合は、<b>外線</b> ボタンを押してからダイヤルしてください。)</p>	<p>内線 18</p>
	<p><b>3</b></p> <p><b>会議通話</b> ボタンを押します。</p> <p>→ 最初の相手ともつながり3人で通話ができます。</p>	<p>会議</p>

### メモ

- 会議通話中は保留ができません
- 3者のうち1者が電話を切れば、他の2者だけの通話になります。しかし、外線2者と会議通話をしているときに、自分が電話を切ると他の2者の電話も切れてしまいます。
- 会議通話で、他の2者に自分から電話をかけた場合の電話料金は、両通話の合計額が表示されます。ただし通話時間は、他の2者との通話時間が交互に表示されます。

# 不在のときに電話がかからないようにします



## 不在設定 **F19**

外出、会議などで席を離れるときに、電話をかけてきた人へ、自分が不在であることを知らせます。

## 設定のしかた

**不在** ボタンを押します。

**不在** ボタンのランプが5秒後に点灯します。

不在 17-22

## メモ

○ 不在設定をしている電話機を呼出すと「ツー・ツー」音が聞こえます。内線から不在設定をしている電話機にかけた場合にはディスプレイに下図のように表示されます。



- ドアホンからの呼出しも無視されます。
- 不在設定をしている電話機から電話をかけることはできます。

## 取消しのしかた

不在設定を取消すときは **不在** ボタンを押します。不在設定が取消されると **不在** ボタンのランプが消灯します。



## 不在のときにあらかじめ設定しておいた相手先へ転送を行います



### 不在転送 **F19**

自分の電話機へかかってくる電話を、あらかじめ設定した他の内線電話機へ自動的に転送します。不在転送には次の二つの設定方法があります。

一つは、自分の電話機に対して不在時の転送先を設定する方法（転送先指定）です。もう一つは、人がいない内線電話機にかかってきた電話を自分の電話機へ転送させるようなときに、転送元の内線電話機を設定する方法（転送元指定）です。

### 転送先指定のしかた

	<p>1 <b>不在</b> ボタンを押します。</p> <p>不在</p>
	<p>2 ダイヤルボタンの①を押します。</p> <p>不在 1</p>
	<p>3 転送先の内線番号をダイヤルします。</p> <p>不在 17-22</p> <p>→ <b>不在</b> ボタンのランプが点灯します。</p>

### メモ

説明は次のページに続きます。

- **不在** ボタンを押してから5秒以内にダイヤルボタンの①または②を押してください。5秒以内にどちらかのボタンを押さないときは、通常の不在設定(→P.68)になります。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、**スピーカ** ボタンを押します。





## 転送元指定のしかた

不在	1	不在 ボタンを押します。	不在
	2	ダイヤルボタンの②を押します。	不在 2
	3	転送元の内線番号をダイヤルします。 ➔ 転送元の「不在」ボタンのランプが点灯します。	14 17-22

PART 4  
外・内線共通の使いかた

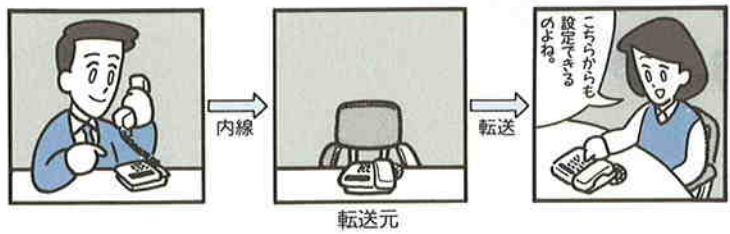
### メモ

- 単独電話機を転送元として指定することはできません。
- 「不在」ボタンが機能ボタンとして登録されていない専用電話機を転送元として指定することはできません。
- 転送元に指定された電話機のディスプレイは、下図の表示になります。



## 取消しのしかた

不在転送を取消したい場合は、転送元の電話機の「不在」ボタンを押します。不在転送が取消されると「不在」ボタンのランプが消灯します。









本学新卒向け基礎能力の検定  
を申し込み開始

本学新卒向け

「新卒向け基礎能力検定」の申し込みを開始しました。  
詳細は「新卒向け基礎能力検定」のページをご覧ください。

5/10/2024

「新卒向け基礎能力検定」の申し込みを開始しました。

「新卒向け基礎能力検定」の申し込みを開始しました。

申し込み



「新卒向け基礎能力検定」の申し込みを開始しました。

新卒向け基礎能力検定

PART

さらに便利な機能

「新卒向け基礎能力検定」の申し込みを開始しました。

申し込み



「新卒向け基礎能力検定」の申し込みを開始しました。

# 自分の内線番号と端子番号を確認します



## 内線番号表示

自分の電話機の端子番号\* と内線番号を表示します。

\*端子番号：主装置と各電話機を接続している端子の番号

## 表示のしかた

The diagram illustrates the process in three steps:

- Step 1:** Press the **設定** (Settings) button. The display shows **設定**.  
Text: **設定** ボタンを押します。  
Text: **設定** ボタンのランプが点灯します。
- Step 2:** Press the **ダイヤル** (Dial) button's **Ⓜ** (Mute) button. The display shows **番号 3 21**.  
Text: **ダイヤル** ボタンの**Ⓜ**を押します。  
Labels: **番号** (Number), **端子番号** (Terminal Number), **内線番号** (Extension Number).
- Step 3:** Press the **設定** (Settings) button. The display shows **14 17-22**.  
Text: **設定** ボタンを押します。

## メモ

- 3の操作をしなくても表示は10秒で消えます。

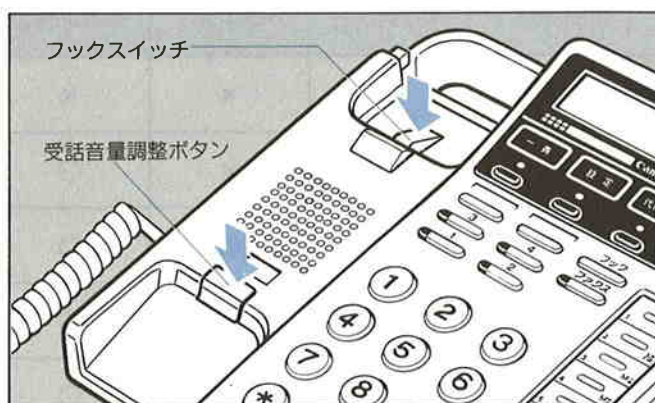
## ダイヤルボタンを押すと音がします



### キーイントーン

電話機の各ボタンを押したときに「ピッ・ピッ」と音が鳴ります。この音をキーイントーンと呼びます。

- キーイントーンを鳴らしたくない場合は、受話器を上げてフックスイッチを押しながら受話音量調整ボタンを押してください。
- 受話音量調整ボタンを押すたびに“鳴る”、“鳴らない”が切替わります。



## トーン信号によって各種サービスを受けます



### PB信号送出

本機がパルス（回転ダイヤル式）回線に接続されていてもトーン信号による各種サービスが受けられます。

- 通常の電話の要領でサービスセンターに電話をかけ、相手が出たらダイヤルボタンの\*を押します。以降、トーン（プッシュホン）信号が発信できるようになりサービスが受けられます。
- トーン信号によるサービスには銀行の残高照会、航空券予約、株式売買などがあります。
- メモダイヤルを使用しているときはこの機能は使えません。

# 電話機ごとに各外線の発信、着信のしかたを設定します



データ設定

## 外線別発着信規制

各電話機ごとに各外線の発信と着信のしかたを設定できます。

● 設定のしかたには以下の5種類があります。

○：使用可能 ×：使用不可

設定	外線発信1	外線発信2	外線応答1	外線応答2
1	×	×	×	×
2	○	○	×	○
3	○	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	○	○	○

外線発信1 (→ P.21)：発信時、受話器をとったときにあいている外線に自動的につながります。

外線発信2 (→ P.22)：発信時、ランプの消えている **外線** ボタンを押して外線につなげます。

外線応答1 (→ P.34)：着信時、受話器をとるだけでその外線にかかってきた電話を受けることができます。

外線応答2 (→ P.34)：着信時、赤色に速く点滅している **外線** ボタンを押して電話を受けます。

# 電話機ごとに発信できる区域を設定します



データ設定

## サービスクラス

各電話機ごとに0～5までのサービスクラス（発信可能区域のレベル）を設定して、市内や市外などへの発信を規制することができます。

●規制には以下の5種類があります。

1. 規制なし .....クラス0
2. 国際電話がかけられません .....クラス1
3. 特定区域を除く、市外電話がかけられません .....クラス2
4. すべての市外電話がかけられません .....クラス3
5. PBXの内線以外の電話がかけられません .....クラス4
6. 本システム内の内線電話のみ発信できます .....クラス5

- 発信規制を行った区域に電話をかけようとしても「ツ・ツー」音が聞こえるだけで発信できません。
- 短縮ダイヤルの00～79に登録されている電話番号は規制の対象となりません。
- 発信規制の設定については、工事保守店にご相談ください。



PART 5

さらに便利な機能

# 通話中にかかってきた 外線からの電話を知らせます

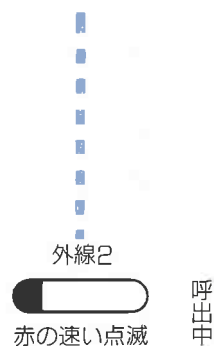
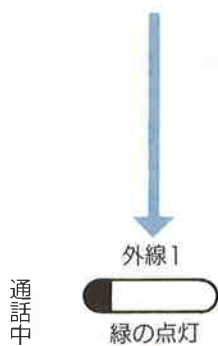


データ設定

## 話中着信

通話中、外線からの着信があったときに「ツー・ツー」音で知らせられます。

(例) 外線1で話し中のときに外線2の電話がかかってきたとき



# 外線からの電話が1台の電話機に集中してかかるようにします










データ設定

## 集中着信

外線の着信モードを“集中着信”に切替えることにより外線からの電話を1台の電話機で集中して受けることができます。夜間・休日ですべての外線電話を守衛所で受けたいときなど便利です。

## 切替のしかた

(例) 外線2の着信モードを“集中着信”に切替えます。

	<b>1</b>	<b>設定</b> ボタンを押します。 → <b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。	
	<b>2</b>	集中着信の設定をする <b>外線</b> ボタンを押します。	
	<b>3</b>	集中着信の着信モード(5)をダイヤルボタンの⑤を押して入力します。	
	<b>4</b>	<b>設定</b> ボタンを押します。	

説明は次のページに続きます。

## メモ

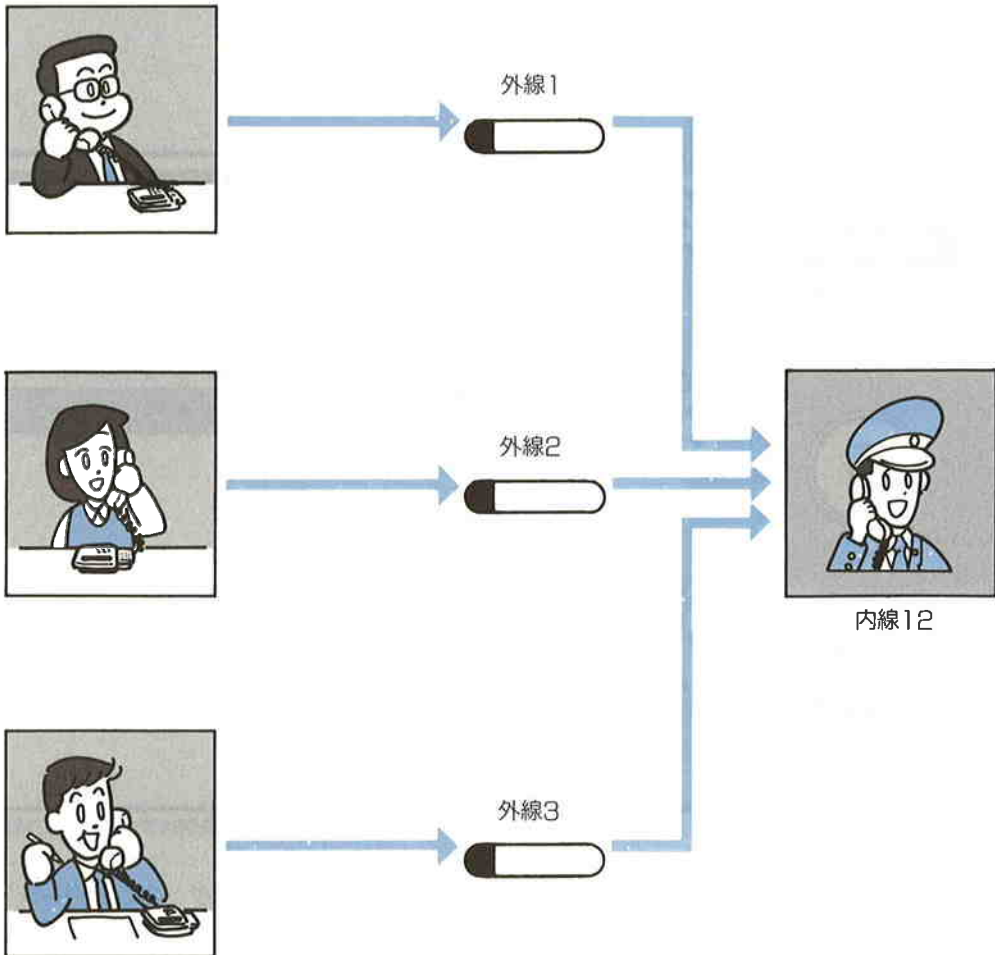
- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、3の操作でダイヤルボタンの⑤を押します。
- 外線ごとに集中着信する電話機を1台設定することができます。設定については工事保守店にご相談ください。
- この集中着信の設定は、必要に応じて外線ごとに設定します。
- 着信モードを集中着信にしているとき、不在設定(→P. 68)や不在転送(→P. 69)の登録は無視されます。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、「スピーカ」ボタンを押します。

PART 5

さらに便利な機能



(例) 外線1、2、3にかかってくる電話をすべて内線12の  
守衛の電話機に着信するように設定したとき



# 外線からの電話をファクスに 着信させます


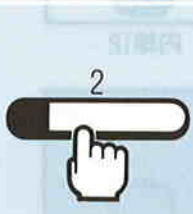




## ファクススライド着信

外線の着信モードを“ファクススライド着信”に切替えることにより、外線からの電話に電話機が一定時間(15秒)以上応答がないときは、自動的に内線のファクスへ着信させることができます。

## 切替のしかた

(例) 外線2の着信モードを“ファクススライド着信”に切替えます。

	1 <b>設定</b> ボタンを押します。	設定
	2 ファクススライド着信の設定をする <b>外線</b> ボタンを押します。	モード 0
	3 ファクススライド着信の着信モード(7)をダイヤルボタンの⑦を押して入力します。	モード 7
	4 <b>設定</b> ボタンを押します。	

PART  
5

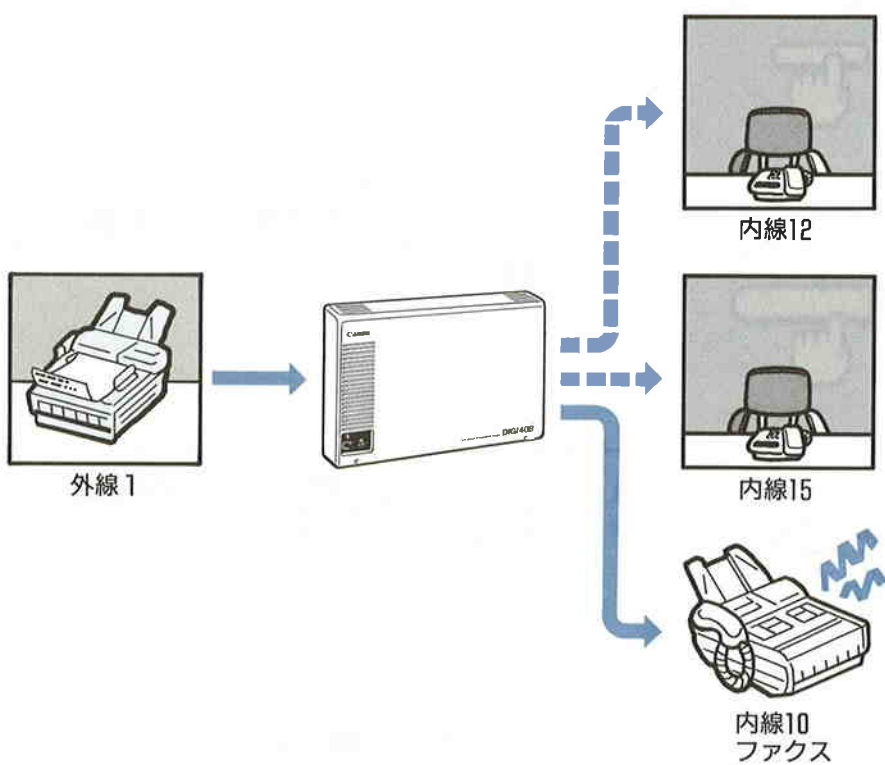
さらに  
便利な  
機能

## メモ

説明は次のページに続きます。

- 着信モードを通常の着信モードにもどすときは、3の操作でダイヤルボタンの⑦を押します。
- このファクススライド着信の設定は、必要に応じて外線ごとに設定します。
- ファクスが使用中( **ファクス** ボタンのランプが赤色に点灯)のときは、ファクスには着信できません。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、**スピーカ** ボタンを押します。

(例) 外線 1 への着信に対して一定時間(15秒)以上応答がないときは、自動的に内線10のファクスへ着信させます。



# 外線ごとに受けることのできる 電話機を設定します



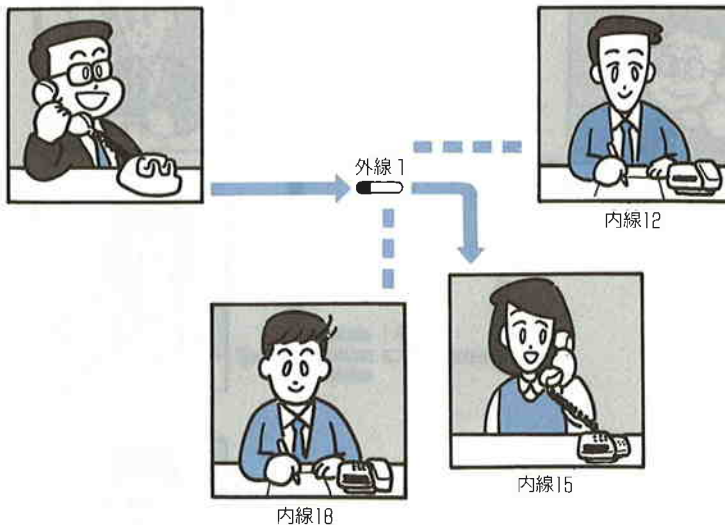
データ設定

## ダイレクト・イン・ライン(DIL着信)

外線からかかってきた電話を外線1本に対して、特定の内線電話機1台にのみかかるようにできます。

- 通常、外線から本機に電話がかかってきたときは接続されているどの内線電話機からでも受けることができますが、これを特定の内線電話機1本でしか受けられないようにできます(この場合はこの特定の電話機しか着信音は鳴りません)。外線1本に対して1台の内線電話機を指定できます。設定については、工事保守店にご相談ください。
- 指定電話機が20秒たっても応答しない場合、DIL着信を解除して通常の外線着信になるように設定することができます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- DILに設定された電話機が不在設定をしていると、DILは行なわれません。
- DILに設定された電話機が不在転送をしていると、転送先がDILになります。
- 着信モード切替で集中着信や転送電話のモードになっていてもDILが優先して行われます。

(例)外線1に対して内線15をダイレクト・イン・ラインに設定したとき



例えば外線1に電話がかかってきたときに通常であれば12・15・18の内線電話機すべてに着信音が鳴りますが、この場合は内線15の電話機が鳴るだけで、他の電話機では受けられません。

PART  
5

さらに便利な機能

## 外線ごとに着信音の鳴る 電話機を設定します



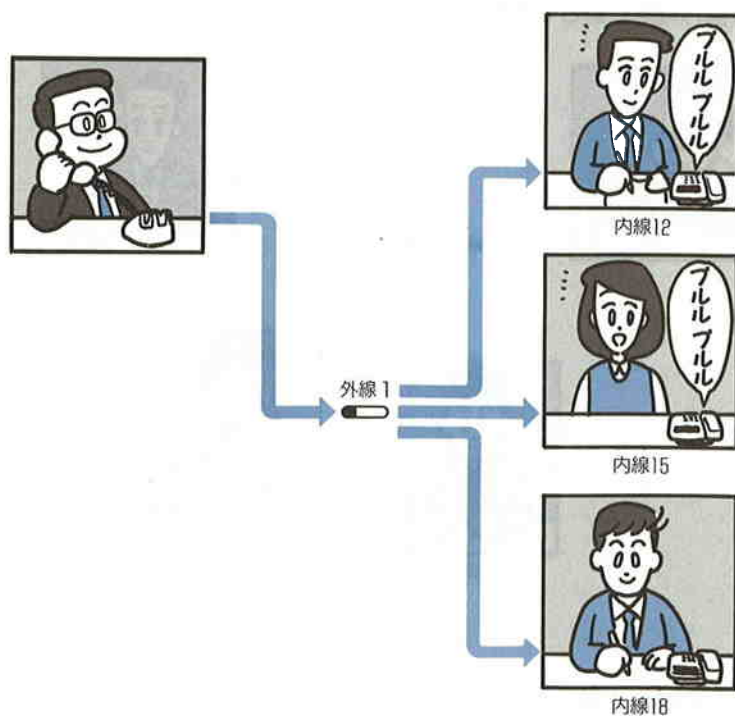
データ設定

### 着信鳴動指定

着信音が鳴る電話機を外線ごとに設定できます。

- 通常、外線から本機に電話がかかってきたときは接続されている内線電話機が一齐に鳴りますが、設定した内線電話機の着信音しか鳴らさないようにすることができます。各外線ごとに着信音を鳴らす内線電話機(複数)を設定できます。設定については、工事保守店にご相談ください。

(例) 外線1にかかってくる電話を内線の12と15の電話機だけ着信音が鳴るようにします。



## 外線ごとに着信音の 音色を変えます



データ設定

### 外線別着信音

外線ごとに着信音の音色を変えることができます。音色は2種類のうちから選択できます。

- 着信音の選択については、工事保守店にご相談ください。

## 警告音を出して長電話を 防ぎます



データ設定

### 長時間通話警報

外線との通話中に、一定の間隔で警告音が鳴ります。

- 警告音を出すようにするには、データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- 警告音は通話を始めてから2分30秒後に鳴り、その後3分間隔で鳴ります。警告音はスピーカから鳴ります。

PART  
5

さらに便利な機能



## 警告音を出して長時間の 保留を防ぎます



### 保留警報

外線との通話を保留状態のまましていると、スピーカから警告音が鳴り、外線ランプが緑色の速い点滅に変わります。

- 警告音は1分間隔で鳴ります。
- 警告音は保留した電話機のみに出されます。
- データ設定により警告音を出さないようにもできます。  
詳しくは、工事保守店にご相談ください。

## 着信音を外部スピーカから 出します



データ設定

オプション

### ベル拡声

電話機の着信音を外部のスピーカから同時に鳴らすことができます。

- 外線ごとにベル拡声の設定をすることができます。
- ドアホン(→P.97)および構内放送(→P.100)を使用中はこの機能は使えません。

# 受話器を置いたまま 通話します







ハンズフリー電話機  
(Cタイプ)のみ

## ハンズフリー通話

ハンズフリー電話機は、受話器を置いた状態で通話ができます。ハンズフリー電話機は、マイクのスイッチを常にONにしておきます。[マイク] ボタンのランプが消灯しているときは、[マイク] ボタンを押してランプを点灯させてください。

## 発信のしかた

(例) 内線34へ電話をかけます。

	<p>1 <b>[内線]</b> ボタンを押します。</p> <p>② 「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。</p> <p>内線</p>
	<p>2 相手の内線番号をダイヤルします。</p> <p>呼出中 34</p>
	<p>3 相手が出たら、お話しください。</p> <p>③ 受話器をとらずに通話できます。</p> <p>内線 34</p>
	<p>4 通話が終わったら <b>[スピーカ]</b> ボタンを押します。</p> <p>④ <b>[スピーカ]</b> ボタンのランプが赤色に点灯します。</p>

PART  
5

さらに便利な機能

説明は次のページに続きます。




## メモ

- 外線へ電話をかけるときは、ランプの消灯している **[外線]** ボタンまたは **[スピーカ]** ボタンを押してください。
- 通話は交互に行ってください。相手と同時に話すと、声かとぎれる場合があります。
- 通話のどの状態のときでも受話器をとれば、ハンズフリー通話を通常の受話器を使った通話に切替えることができます。
- **[マイク]** ボタンのランプを消灯させると、こちら側の音を一時的に相手に送らないようにすることができます。



## 応答のしかた

(例) 内線12から電話がかかってきたとき。



 <p>スピーカ</p>	<p>1</p> <p>着信音が鳴ったら、<b>スピーカ</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ <b>スピーカ</b> ボタンのランプが赤色に点灯します。</p>	<p>内線 12</p>
	<p>2</p> <p>相手が出たら、お話しください。</p> <p>⇒ 受話器をとらずに通話できます。</p>	<p>内線 12</p>
 <p>スピーカ</p>	<p>3</p> <p>通話が終わったら <b>スピーカ</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ <b>スピーカ</b> ボタンのランプが消灯します。</p>	

### メモ

- 相手が音声呼出(→P.53)を行ってきた場合、**マイク** ボタンのランプが点灯しているハンズフリー電話機は、応答操作をしないで相手と通話することができます。

## マイクのON/OFFのしかた

**マイク** ボタンのランプが点灯している状態で外線と通話中。

 <p>マイク</p>	<p>1</p> <p><b>マイク</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ <b>マイク</b> ボタンのランプが消灯します。マイクがOFFになり、こちらからの音は送出されません。</p>	<p>外線</p>
 <p>マイク</p>	<p>2</p> <p>再び相手と通話するには、もう一度 <b>マイク</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ <b>マイク</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	<p>外線</p>

### メモ

- **マイク** ボタンを押すたびにマイクのスイッチのON/OFFが切替わります。

# 機能ボタンの登録を行います



## フレキシブルキーアサイン

機能によっては、あらかじめ必要なボタンを設定しておかなければならないものがあります。これらのボタンは、機能ボタン\*の任意の位置に設定できます。この設定操作をフレキシブルキーアサインと呼びます。

\*工場出荷時は、「一斉」ボタン(ハンズフリー電話機は、「マイク」ボタン)、「設定」ボタン、「代理応答」ボタン、「内線」ボタンが登録されています。

## 設定のしかた

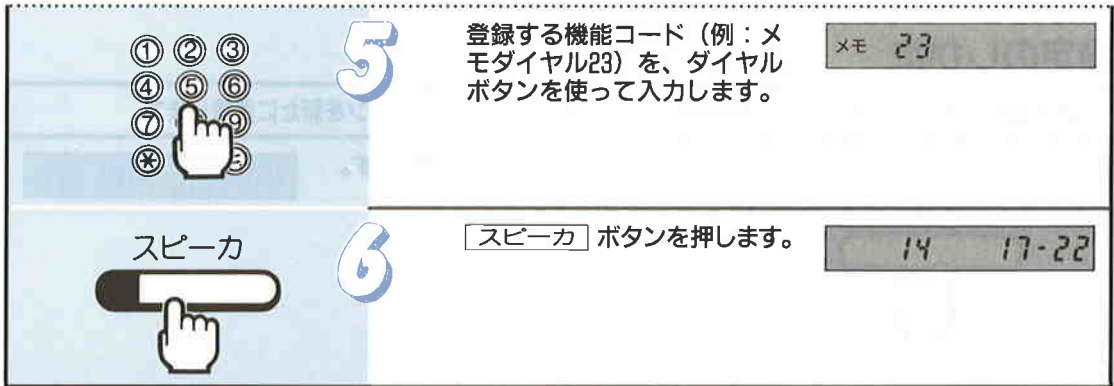
(例) 機能ボタン「一斉」ボタンを取消して「メモダイヤル」ボタンを新たに登録します。

	<p>1 <b>フック</b> ボタンを押します。</p>	<p>取消</p>
	<p>2 <b>スピーカ</b> ボタンを押します。</p>	<p>機能</p>
	<p>3 機能を登録する機能ボタンを押します。</p>	<p>一斉 14</p>
	<p>4 すでに登録されている機能がある場合は、「フック」ボタンを押して機能を消去します。</p> <p>⑤ 3の操作で右のような表示のときは、この操作は不要です。</p>	<p>---</p>

操作は次のページに続きます。

PART  
5

さらに便利な機能



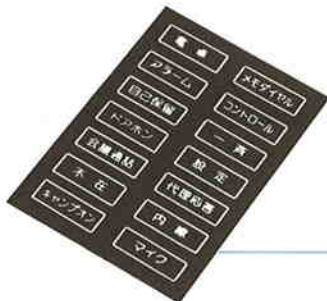
## 機能コード表

機能コード	機能名称	機能コード	機能名称
11	電卓	18	代理応答*
12	設定*	19	不在
13	アラーム	20	キャンプオン
14	一斉*	21	内線*
15	自己保留	22	マイク**
16	ドアホン	23	メモダイヤル
17	会議通話	24	コントロール

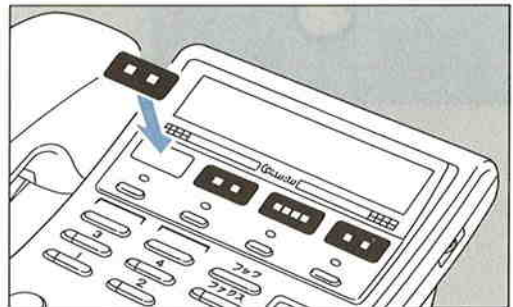
- (注) \*
- 工場出荷時に機能ボタンに登録されています。
  - \*\* ハンズフリー電話機の場合、工場出荷時には「マイク」ボタンが「一斉」ボタンの代りに設定されています。「マイク」ボタンを標準電話機（A、Bタイプ）、停電用電話機（Dタイプ）に登録してもハンズフリー通話を行うことはできません。

## メモ

- 設定した機能ボタンには付属のファンクションシールを貼ります。



ファンクションシール





## 操作をプログラマブルキー、ワンタッチダイヤルボタンに登録します

### プログラマブルキーアサイン

プログラマブルキー、ワンタッチダイヤルボタン、外線の接続されていない外線ボタンには電話番号だけでなく「設定」「アラーム」などの機能ボタンに登録したり、例えば不在設定などの一連の操作に登録したりすることができます。

- 登録のしかたはワンタッチダイヤルの登録(→P.24)と同じです。電話番号の代りに、機能ボタンや数字を入れてください。
- 「設定」と「フック」と「外線」と「リダイヤル」の登録をするときには受話器をあげてから、それぞれのボタンを押してください。
- この機能で使用する機能ボタンは、あらかじめフレキシブルキーアサイン(→P.88)で設定しておく必要があります。

### 登録できる機能ボタンとディスプレイ表示との対応

機能ボタン	ディスプレイ表示
電卓	F11.
設定	F12.
アラーム	F13.
一斉	F14.
自己保留	F15.
ドアホン	F16.
会議通話	F17.
代理応答	F18.
不在	F19.
キャンプオン	F20.
内線	F21.
マイク	F22.
メモダイヤル	F23.


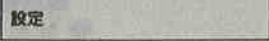
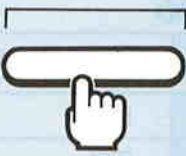

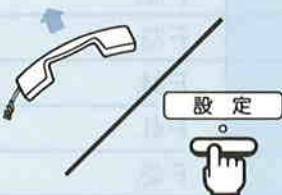


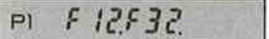
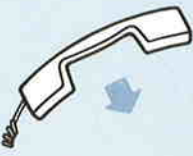
機能ボタン	ディスプレイ表示
コントロール	F24.
外線1	F31.
外線2	F32.
外線3	F33.
外線4	F34.
フック	F41.
ファクス	F42.
短縮	F43.
リダイヤル	F44.
スピーカ	F45.
保留	F46.
受話音量	F47.

説明は次のページに続きます。

1～2と9の操作でワンタッチダイヤルの登録操作を行い、その間、3～8の操作で通常の電話番号を入力する代わりに転送電話の操作を登録します。

## 登録のしかた

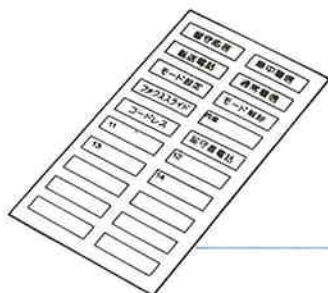
(例) 外線2の着信モードを転送電話にする操作をプログラマブルキーの1に登録します。

 <p>1</p>	<p>設定 ボタンを押します。</p> <p>⇒ 設定 ボタンのランプが点灯します。</p>	
 <p>2</p>	<p>プログラマブルキーの1を押します。</p>	
 <p>3</p>	<p>受話器を上げ、設定 ボタンを押します。</p>	
 <p>4</p>	<p>着信モードを切替える外線ボタンを押します。</p>	
 <p>5</p>	<p>受話器をもどします。</p>	

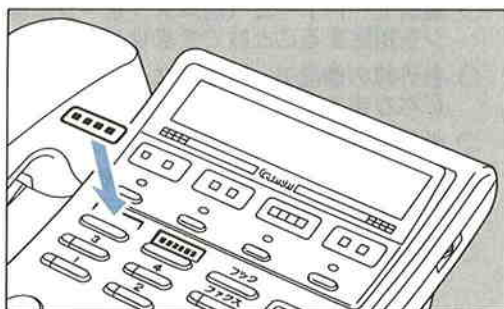
	<p><b>6</b> 転送電話の着信モード(6)をダイヤルボタンの⑥を押して入力します。</p>	
	<p><b>7</b> 受話器を上げ、<b>設定</b> ボタンを押します。</p>	
	<p><b>8</b> 受話器をもどします。</p>	
	<p><b>9</b> <b>設定</b> ボタンを押します。</p>	

## メモ

- 登録する操作の中に、**設定** ボタンや **外線** ボタンを押す操作があるときは、一度受話器を上げてからそれらのボタンを押して登録します。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げします。
- 登録したボタンには、付属の空き外線シールを貼ります。



空き外線シール



# 1外線ごとの着信モードを切替えます



## 着信モード切替

外線から電話がかかってきたときに通常着信をするか、音声メッセージで対応するか、集中着信をするか、外線・外線転送1にするか、ファクススライド着信にするかという着信モードを外線ごとに設定します。

## 切替のしかた

(例) 外線2の着信モードを集中着信に切替えます。

<p>1</p>	<p>設定 ボタンを押します。</p> <p>⇒ 設定 ボタンのランプが点灯します。</p>
<p>2</p>	<p>着信モードの設定をしたい外線ボタンを押します。</p>
<p>3</p>	<p>着信モード番号をダイヤルボタンで押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>着信モード</p> <p>0. 通常着信</p> <p>1. 音声メッセージ応答 1</p> <p>2. 音声メッセージ応答 2</p> <p>3. 音声メッセージ応答 3</p> <p>4. 音声メッセージ応答 4</p> <p>5. 集中着信</p> <p>6. 転送電話(外線・外線転送1)</p> <p>7. ファクススライド着信</p> </div> <p>オプションが必要です。</p>
<p>4</p>	<p>設定 ボタンを押します。</p>

## メモ

- モードを切替えをしようとする外線が使用中でもモードを切替えることができます。
- 着信モード1~4 (音声メッセージ応答) は全外線に共通で、外線ごとに異なった音声メッセージを指定することはできません。
- 各外線の着信モードがマスター電話機に表示されるようになります。
- 外線が接続されていないときは、スペースになります。
- 外線の設定がすべて“0”(通常着信) のときは、上のモード表示はされず、通常の日付・時刻表示になります。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、**スピーカ** ボタンを押します。





緊急通報センターに通報する

緊急通報センター

緊急通報センターに通報する

緊急通報センター

緊急通報センターに通報する

緊急通報センターに通報する

緊急通報センター

緊急通報センターに通報する



PART

## アラーム・ドアホン 構内放送・電卓



## 指定の時刻にアラームを鳴らします





### アラーム **F13**

電話機ごとに指定時刻にアラームを鳴らすことができます。

### 設定のしかた



(例) 午後1時30分にアラームが鳴るようにします。

	<b>1</b>	<b>アラーム</b> ボタンを押します。	時報
	<b>2</b>	ダイヤルボタンで時刻を入力します。 (例) 1 3 3 0 時刻は24時間制で入力します。 → <b>アラーム</b> ボタンのランプが点灯します。	14 17-22

### メモ

- 取消しをするまでは毎日指定時刻にアラームが鳴ります。
- アラーム音は15秒間鳴ります。途中で止めたいときは、受話器をあげるか任意のボタンを押してください。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、**スピーカ** ボタンを押します。

## 取消しのしかた

	<b>1</b>	<b>アラーム</b> ボタンを押します。	時報 1330
	<b>2</b>	<b>フック</b> ボタンを押します。 → <b>アラーム</b> ボタンのランプが消灯します。	14 17-22

## 内容確認のしかた

内容の確認をするときは、取消しのしかたの2の操作を省いてください。

## ドアホンの相手と通話します



オプション

データ設定

### ドアホン [F16]

ドアホンからの呼び出しに電話機で応答したり、電話機からドアホンを呼出して通話することができます。ドアホンはドアホン1、2の2つを接続できます。

### 応答のしかた

ドアホンからの着信音「ピンポン・ピンポン」または「ピーン・ポーン」が鳴ったら受話器をとってお話してください。  
また、ドアホン側にも呼出音が鳴ります。



### メモ

- ドアホン1の着信音は「ピンポン・ピンポン」、ドアホン2の着信音は「ピーン・ポーン」になります。
- ドアホンが鳴ってから10秒間は、受話器をとって応答することができます。
- 単独電話機の場合は、「ピンポン・ピンポン」または「ピーン・ポーン」ではなく通常の電話着信音になります。
- 外線通話中にドアホンからの呼出しに応答するときは、**[保留]** ボタンを押して一度外線通話を保留してから **[ドアホン]** ボタンを押して0をダイヤルします。
- 単独電話機で上記の操作を行う場合は、フッキング(→P.45)を行ってから90をダイヤルします。

### 着信音の鳴っていない電話機での応答



ドアホンが鳴っている電話機以外の電話機でドアホンに応答するときは、つぎのようにします。

	1	受話器をとります。	外線
	2	<b>[ドアホン]</b> ボタンを押します。	ドア
	3	ダイヤルボタンの①を押します。	ドア1

### メモ

- ドアホンをご利用の際は、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- 単独電話機の場合は、内線発信状態にしてから90をダイヤルします。なお、内線発信状態にするにはあらかじめデータ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

## 呼出しのしかた



	<p>受話器をとります。</p> <p>内線</p>
	<p>「ドアホン」ボタンを押します。</p> <p>ドア</p>
	<p>ドアホンの番号(1または2)を押します。</p> <p>「ドアホン」ボタンのランプが点灯します。</p> <p>ドア 1</p>

### メモ

- ドアホンを呼出す前にドアホンと自分の電話機の両方に予告音を鳴らすように設定することができます。また、通話音量を調整することもできます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- 単独電話機からドアホンを呼出す場合は、内線発信状態で9をダイヤルしてから、ドアホン番号(1または2)をダイヤルしてください。なお、内線発信状態にするには、あらかじめデータ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

## 来客検知機を利用します



オプション

データ設定

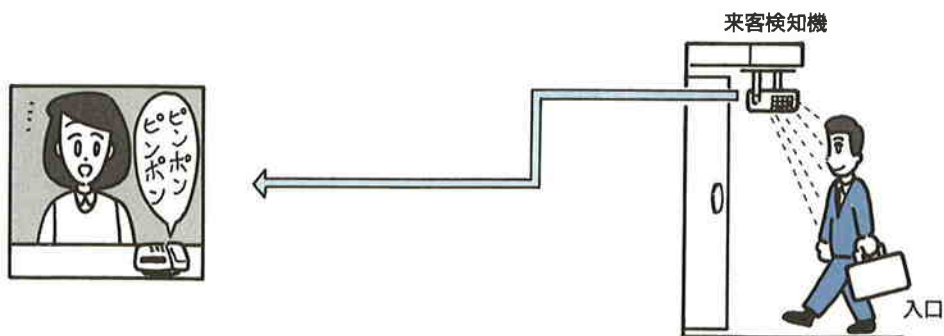
### 来客検知機

来客検知機と《DIGI 408》を接続して、来客時に電話機を鳴らすことができます。

来客検知機の種類については、工事保守店にご相談ください。

### メモ

- 来客検知機はシステムで1個だけ接続できます。
- 電話機への表示と鳴動は、ドアホン(→P.97)のドアホン番号1と同じ扱いとなります。



## 外部スピーカを使って 放送します



オプション

データ設定

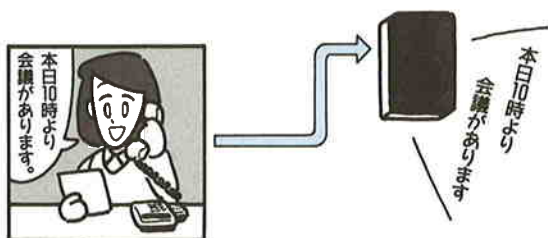
### 構内放送 **F16**

外部スピーカ（オプション）を通して放送ができます。

	<p><b>1</b> 受話器をあげます。</p>	<p>外線</p>
	<p><b>2</b> <b>ドアホン</b> ボタンを押します。</p>	<p>ドア</p>
	<p><b>3</b> ダイヤルボタンの③を押します。</p> <p>➡ <b>ドアホン</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	<p>放送</p>

### メモ

- 構内放送を行うには、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- ドアホンを使用中はこの機能は使えません。
- ベル拡声が鳴っているときは、この機能は使えません。
- 単独電話機から構内放送を行う場合は、内線発信状態で93をダイヤルしてください。なお、内線発信状態にするには、あらかじめデータ設定が必要です。詳しくは工事保守店にご相談ください。



# 電話機からの操作でドアの 開閉ができます




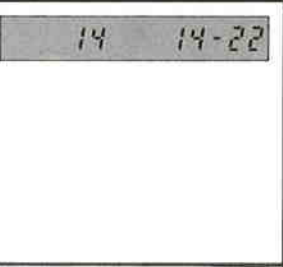

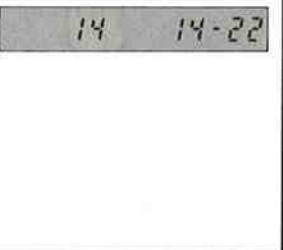
オプション

データ設定



## コントロール信号出力 [F24]

専用電話機の機能ボタンの操作で信号線のON/OFFを制御する機能です。市販品のモニタカメラや電気錠などと合わせて使用します。コントロール信号出力の操作方法は、2タイプあります。使用する外部機器の仕様にあわせて操作を行ってください。

### 操作のしかた(タイプ1)

	<p><b>コントロール</b> ボタンを押します。</p> <p>➡ 信号線にON信号を送ります。[コントロール] ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p><b>コントロール</b> ボタンを押します。</p> <p>➡ 信号音にOFF信号を送ります。[コントロール] ボタンのランプが消灯します。</p>	

### 操作のしかた(タイプ2)

	<p><b>コントロール</b> ボタンを押します。</p> <p>➡ 一定時間、信号線がONになっています。 [コントロール] ボタンのランプがONの間だけ点灯します。</p>	
---	---	--

### メモ



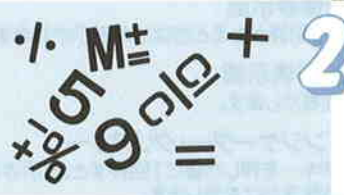


- 操作のしかた(タイプ1)では [コントロール] ボタンを押すたびにONとOFFが切替わります。操作のしかた(タイプ2)では一定時間、信号線にON信号が送られます。
- 操作のしかた(タイプ2)で信号線をONにする時間は、100msec～900msec単位で選択できます。詳しくは工事保守店にご相談ください。

## ディスプレイを使って 計算をします



### 電卓 **F11**

10桁の計算ができます。

	<p>電卓 ボタンを押します。</p> <p>⇒ 電卓 ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p>計算ができます。</p> <p>計算のしかた(→P.104)</p>	
	<p>もういちど 電卓 ボタンを押すと、電話の状態にもどります。</p>	

### メモ

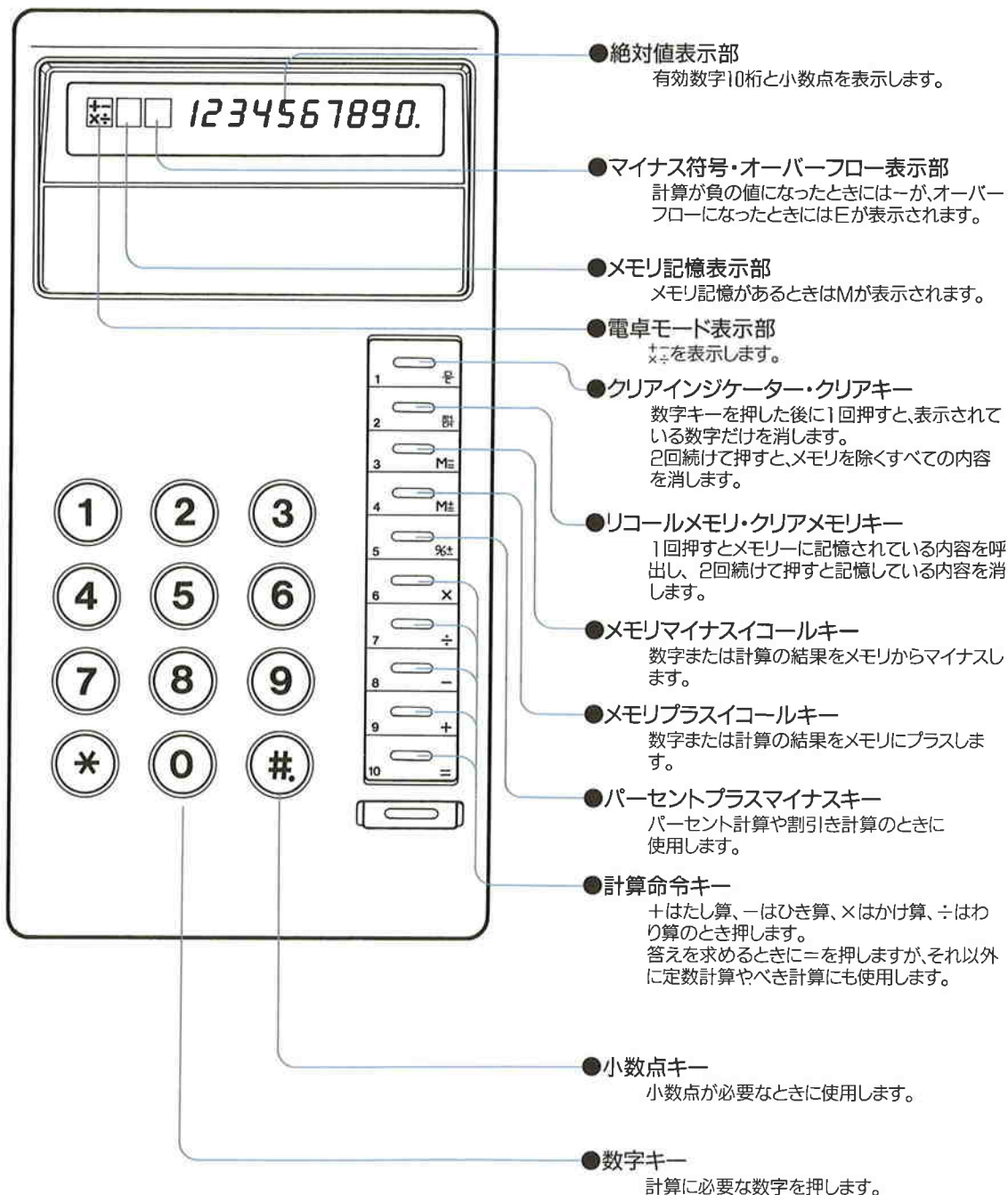
- 外線通話の途中で電卓に切替えて計算することもできます。
- 計算の途中で以下の動作で電話に切替わります。

1. 受話器をあげる。
2. スピーカーボタンを押す。
3. 他の人が使っていない外線ボタンを押す。
4. 内線ボタンを押す。

1～4で電話に切替えた後、再度電卓に戻るときは、**電卓** ボタンを押します。そのときに演算の状態はもとのままです。



## 各部の名称とはたらき



- 絶対値表示部  
有効数字10桁と小数点を表示します。
- マイナス符号・オーバーフロー表示部  
計算が負の値になったときには-が、オーバーフローになったときにはEが表示されます。
- メモリ記憶表示部  
メモリ記憶があるときはMが表示されます。
- 電卓モード表示部  
電卓モードを表示します。
- クリアインジケータ・クリアキー  
数字キーを押した後に1回押すと、表示されている数字だけを消します。  
2回続けて押すと、メモリを除くすべての内容を消します。
- リコールメモリ・クリアメモリキー  
1回押すとメモリに記憶されている内容を呼出し、2回続けて押すと記憶している内容を消します。
- メモリマイナスイコールキー  
数字または計算の結果をメモリからマイナスします。
- メモリプラスイコールキー  
数字または計算の結果をメモリにプラスします。
- パーセントプラスマイナスキー  
パーセント計算や割り引き計算のときに使用します。
- 計算命令キー  
+はたし算、-はひき算、×はかけ算、÷はわり算のとき押します。  
答えを求めるときに=を押しますが、それ以外に定数計算やべき計算にも使用します。
- 小数点キー  
小数点が必要なときに使用します。
- 数字キー  
計算に必要な数字を押します。

## 計算のしかた

### ■加減算(たし算・ひき算)

$8 + 3 + 5.5 = 16.5$	$8 \text{ + } 3 \text{ + } 5 \text{ # } 5 \text{ =}$	
$4 - 7 - 3 = -6$	$4 \text{ - } 7 \text{ - } 3 \text{ =}$	

### ■乗除算(かけ算・わり算)

$-3.6 \times 1.7 = -6.12$	$\text{- } 3 \text{ # } 6 \text{ \times } 1 \text{ # } 7 \text{ =}$	
$592 \div 4.8 = 123.3333333$	$592 \text{ \div } 4 \text{ # } 8 \text{ =}$	

### ■四則混合計算(加減乗除算の混じった計算)

$9 \div 5 \times 3.2 + 7 = 12.76$	$9 \text{ \div } 5 \text{ \times } 3 \text{ # } 2 \text{ + } 7 \text{ =}$	
$(2 + 4) \div 3 \times 8.1 = 16.2$	$2 \text{ + } 4 \text{ \div } 3 \text{ \times } 8 \text{ # } 1 \text{ =}$	

### ■定数計算(きまった数をかけたり、わったりする計算)

$2 + \underline{3} = 5$	$2 \text{ + } 3 \text{ =}$	
$4 + \underline{3} = 7$	$4 \text{ =}$	
$\underline{2} \times 3 = 6$	$2 \text{ \times } 3 \text{ =}$	
$\underline{2} \times 4 = 8$	$4 \text{ =}$	
$6 \div \underline{3} = 2$	$6 \text{ \div } 3 \text{ =}$	
$9 \div \underline{3} = 3$	$9 \text{ =}$	

## メモ

○ 定数たし算ではたす数、定数ひき算ではひく数、定数かけ算ではかけられる数、定数わり算ではわる数が自動的に定数となります。

## ■ 自乗・べき計算

$$3^2 = 9$$

$$3 \times \text{=}$$

$$\text{**} \quad \text{9}$$

$$3^4 = 81$$

$$3 \times \underbrace{\text{=}}_{(4-1)}$$

$$\text{**} \quad \text{81}$$

⑨  $\text{=}$  キーを  $n-1$  回押すことにより  $n$  乗が得られます。

## ■ 逆数計算 (逆数とは1をある数で割った数です。)

$$1/2 = 0.5$$

$$2 \div \text{=}$$

$$\text{**} \quad \text{0.5}$$

$$\frac{1}{2 \times 3 + 4} = 0.1$$

$$2 \times 3 \text{+} 4 \div \text{=}$$

$$\text{**} \quad \text{0.1}$$

⑨  $\div$   $\text{=}$  キーを続けて押すと逆数が得られます。

## ■ パーセント計算 (200円の17%はいくらかを求めるときには次のようにします。)

$$200 \times 17\% = 34$$

$$200 \times 17 \text{ \%}$$

$$\text{**} \quad \text{34}$$

## ■ 割増計算 (一定の金額にその何%かの額を加える計算です。) (200円の20%増しを求めるときには次のようにします。)

$$200 + (200 \times 20\%) = 240$$

$$200 \text{+} 20 \text{ \%}$$

$$\text{**} \quad \text{240}$$

## ■ 割引計算 (一定の金額より何%か安くするときの計算です。) (200円を20%割引にするといくらかを求めるときには次のようにします。)

$$200 - (200 \times 20\%) = 160$$

$$200 \text{-} 20 \text{ \%}$$

$$\text{**} \quad \text{160}$$

■定数パーセント(定数のかけ算のように、かけられる数は一定、  
かける数はパーセントを含む計算です。)

$1500 \times 12\% = 180$	1500 $\times$ 12 $\%$	
$1500 \times 15\% = 225$	15 $\%$	
$1500 \times 17\% = 255$	17 $\%$	

■メモリ計算

メモリクリア $(35 + 76) + (25 \times 5)$ $+ (55 + 16) = 307$		
$35 + 76 = 111$	35 $+$ 76 $=$ $M\pm$	
$25 \times 5 = 125$	25 $\times$ 5 $=$ $M\pm$	
$+ 55 + 16 = 71$	55 $+$ 16 $=$ $M\pm$	
小計 307		
$307 - (37 + 75) - 66 = 129$	37 $+$ 75 $=$ $M\pm$	
$37 + 75 = 112$	66 $M\pm$	
$- 66$		
合計 129		

メモリクリア $100 + 200 + 300 +$ $400 + 500 = 1500$ 下線部だけの和を メモリ内に求めます。		
$100 + 200 + 300 +$	100 $M\pm$ $+$ 200 $M\pm$ $+$ 300	
$400 + 500 = 1500$	$+$ 400 $M\pm$ $+$ 500 $=$	

## 10桁を越えた計算について(オーバーフロー)

次のような場合には、オーバーフロー表示Eを表示して計算ができなくなります。  
次の計算を始めるには  $\square$  キーを押して、Eを消してください。

### 1. 計算結果の整数部分が10桁を越える場合

計算結果は上から10桁のみを表示し、小数点は、消去された桁数分だけ最上位桁からまわり込んだ位置に表示します。(20桁までは、上位10桁とEを表示してロックします。)

(例) 11111111  $\square$   $\square$   $\square$  E 1234567654

$$11111111 \times 11111111 = 1234567654321$$

### 2. メモリ内容の整数部分が10桁を越えた場合

ディスプレイに 0 が表示されます。

ME 0

オーバーフローする前のメモリの内容は  $\square$  キーを押した後に  $\square$  キーを押すことにより、呼びもどすことができます。

### 3. わる数が0のわり算をしたとき

ディスプレイに0が表示されます。

(例) 200  $\square$  0  $\square$

E 0

## 料金計算と料金表示

本機の通話料金計算と表示は、NTTで集計した料金の内容と同一とは限りません。集計結果に差異が生じたとしても、公式データとしてNTTに提出・申し立てはできません。

## 通話中の時間と料金を表示します



データ設定

### 通話料金表示

外線に電話をかけたときに通話時間と料金が表示されます。

料金	5分	20円	外線通話時
会議	5分	20円	会議通話時

### メモ

- 通話料金を表示させるには、各種データ設定が必要になります。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- 通話を保留しているとき、料金表示はされませんが、料金はカウントされます。保留を解除し、通話を始めると再び料金表示されます。
- 自分から外線に電話をかけ、それを他の内線に転送した場合でも、通話料金は自分の電話機でカウントされます。
- 会議通話で、他の二者に自分から電話をかけた場合の電話料金は両通話の合計額が表示されます。
- 外線がPBXやNCCアダプタに接続されているときは、ダイヤルしてから10秒後に料金計算を開始します。
- 国際電話、番号案内等ダイヤルによっては料金表示ができないものもあります。

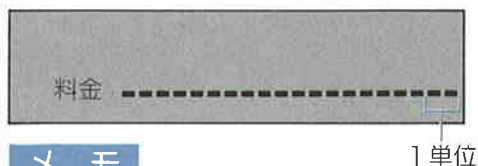
## 使用料金の累計をメータ表示します



データ設定

### 料金メータ表示

電話機ごとに使用料金をメータ表示します。



### メモ

- 料金メータ表示をさせるためには、各種データ設定が必要です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。
- メータ表示は設定した料金を1単位として10単位まで表示されます。料金単位の設定については、工事保守店にご相談ください。
- メータ表示は、登録や設定の操作中を除いて常時表示されます。
- 国際電話の使用料金は表示できません。











# 使用料金を集計します

## 料金集計表示

通話料金を電話機ごと、外線ごとに表示できます。

### 電話機ごとの集計のしかた

	<p><b>1</b> <b>設定</b> ボタンを押します。</p> <p>→ <b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p><b>2</b> <b>ダイヤル</b> ボタンの③を押します。</p> <p>→ 端子番号0の電話機の料金が表示されます。</p>	
	<p><b>3</b> 調べたい電話機の端子番号を<b>ダイヤル</b> ボタンで押します。</p> <p>→ 集計料金が表示されます。</p>	
	<p><b>4</b> <b>設定</b> ボタンを押します。</p>	

PART 7

料金計算と料金表示

### メモ

説明は次のページに続きます。

- 料金計算に関する各種データを設定した場合にのみ有効です。それ以外は正確な料金は表示されません。
- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、**スピーカ** ボタンを押します。

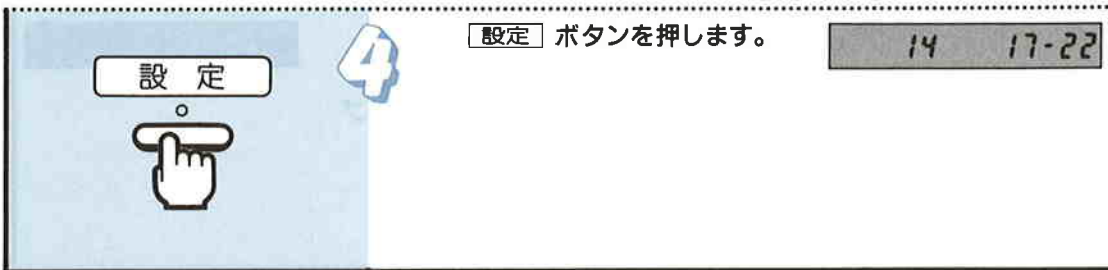


端子番号とは.....工場出荷時、端子番号と内線番号は下記の様に対応しています。データ設定によって内線番号を変更した場合は“内線番号表示”（→P.73）によって端子番号を調べてください。

端子番号	内線番号
0	→10
1	→11
2	→12
3	→13
⋮	→⋮
9	→19

## 外線ごとの集計のしかた

 <p>1</p>	<p>設定 ボタンを押します。</p> <p>⇒ 設定 ボタンのランプが点灯します。</p>	
 <p>2</p>	<p>ダイヤルボタンの④を押します。</p> <p>⇒ 外線1の集計料金が表示されます。</p>	
 <p>3</p>	<p>調べたい外線ボタンの番号をダイヤルボタンで押します。</p> <p>⇒ 集計料金が表示されます。</p>	

**メモ**

- 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、「スピーカ」ボタンを押します。

**集計の消去のしかた**

電話機ごとの集計を消去したい場合は、110ページの4の操作の前に「フック」ボタンを押します。  
外線ごとの集計を消去したい場合は、112ページの4の操作の前に「フック」ボタンを押します。







**メモ**

- 一度に複数の消去を行なうときは、3の操作と「フック」ボタンを押すのを繰返してください。

## 各電話機での集計のしかた



(各電話機でも自分の電話機の通話料金ならば集計できます。)

	<p>1 <b>設定</b> ボタンを押します。</p> <p>⇒ <b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p>2 ダイヤルボタンの9を押します。</p>	
	<p>3 <b>設定</b> ボタンを押します。</p>	

### メモ

○ 3の操作をしなくても表示は10秒間で消えます。



百老軒の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

「百老軒」の合字印刷、日

PART 8







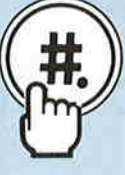

その他

# 日付、時刻を合わせます




## 合わせかた

(例) 92年7月16日(木曜日)午後5時22分にセットします。

	<p>1 <b>設定</b> ボタンを押します。</p> <p>→ <b>設定</b> ボタンのランプが点灯します。</p>	
	<p>2 <b>#</b> ボタンを押します。</p> <p>→ 現在設定されている日時が表示されます。</p>	
	<p>3 <b>ダイヤルボタン</b>を使って年月日、時刻を入力します (例: 92年7月16日、午後5時22分)。</p> <p>→ 24時間制で入力します。入力する数値が1桁のときは、前に0を付けます。</p>	
	<p>4 <b>#</b> ボタンを押します。</p> <p>→ 現在設定されている曜日が表示されます。</p>	

**5**



ダイヤルボタンを使って曜日を入力します(例：木曜日)。


☞ 曜日は下表に従って設定します。

日	月	火	水	木	金	土
0	1	2	3	4	5	6

日時 4

---

**6**



**設定** ボタンを押します。

16 17-22

## メモ

○ 3の操作で変更する箇所が「分」だけなどの場合は、  を押して変換する数値にカーソルを移動してその数値のみを変更することができます。

.....カーソルは右に移動します。

.....カーソルは左に移動します。

○ 操作を中断するときは、受話器を上げ下げするか、 ボタンを押します。

## 停電のとき

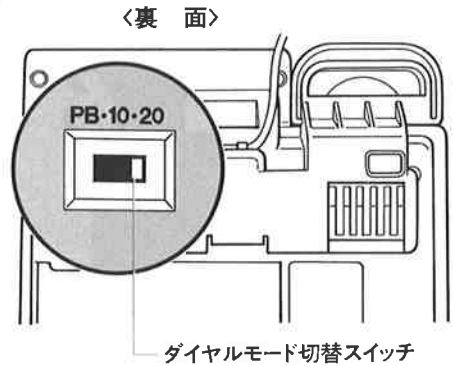
- 停電時には、停電用に指定(設置時に指定)されている電話機でのみ外線の発信と着信ができます。その際、ダイヤルボタン以外の機能ボタンは使えません。  
停電用に指定できる電話機は停電用電話機(Dタイプ)のみです。
- 停電用電話機(Dタイプ)のディスプレイには何も表示されません。
- 通話中に停電になった場合および停電が復旧した場合には通話は切れます。
- 停電が1分以上続いた場合、留守応答のメッセージは消去され、着信モードが自動的に通常着信に切替ります。
- 停電用電話機(Dタイプ)の電話機は、あらかじめダイヤルモードを切替えておく必要があります。

### 停電用電話機(Dタイプ)が接続されている回線(外線1または2)をダイヤルホンで契約しているとき

- ダイヤルモード切替スイッチを"10"PPSか"20"PPSにセットします。20PPSは10PPSよりダイヤルのスピードが早く便利ですが、使用できない地域がありますのでご注意ください。(出荷時は20PPSにセットしてあります)

### 停電用電話機(Dタイプ)が接続されている回線(外線1または2)をプッシュホンで契約しているとき

- ダイヤルモード切替スイッチを"PB"にセットします。



## 故障かなと思うまえに

下記のことを確認して販売店にご相談ください。

1. 主装置の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
2. 電話機のコードが抜けていませんか？
3. ローゼットから接続コードが抜けていませんか？
4. 操作は正しく行なわれましたか？

# さくいん

## 【ア】

アラーム	95
一斉呼出	54
Aタイプ電話機	7
NCC回線	21
NCC特番	21
オートリピートダイヤル	32
音声メッセージ録音	36
音声呼出	36

## 【カ】

会議通話	67
外線別発信規制	75
漢字ディスプレイ	18
外線応答1	34
外線応答2	34
外線・外線転送1	43
外線・外線転送2	45
外線システム保留	40
外線自己保留	41
外線・内線転送1	46
外線・内線転送2	48
外線発信1	21
外線発信2	22
外線別着信音	84
外線ボタン	18
外線予約	31
外線ランプ	18
キーイントーン	74
機能ボタン	18
キャンプオン	31・57
傾斜台ユニット	12
構内放送	100
コントロール信号出力	101

## 【サ】

サービスクラス	76
自己保留	41

システム短縮ダイヤル	26
Cタイプ電話機	7
集中着信	78
主装置	14
受話音量調整ボタン	16
受話器	16
数字ディスプレイ	18
スピーカ	16
スピーカ音量調整ボリューム	16
スピーカボタン	16
スピーカランプ	16

## 【タ】

代理応答	59
端子番号	111
短縮ダイヤル	26
短縮ボタン	16
単独電話機	7・8
端末設備接続(変更)請求書	10
ダイヤルボタン	16
ダイレクト・イン・ライン	82
着信音量調整ボリューム	16
着信鳴動指定	83
着信モード切替	93
長時間通話警報	84
通話料金表示	109
停電用電話機	7・117
転送	42
Dタイプ電話機	7
ディスプレイ濃度調整ダイヤル	16
電源スイッチ	14
電源ランプ	14
電卓	102
電話機別短縮ダイヤル	26
トーン信号	74
ドアホン	97



【ナ】		保留ボタン	16
内線一斉呼出	54	保留メロディ	40
内線応答	59	保留ランプ	16
内線・外線転送	64		
内線システム保留	60	【マ】	
内線代理応答	59	マスター電話機	8
内線・内線転送1	61	メッセージウェイト	55
内線・内線転送2	63	メッセージ番号	36
内線発信	51	メモダイヤル	30
内線番号表示	73		
内線予約	57		
		【ヤ】	
【ハ】			
ハンズフリー電話機	7	【ラ】	
ハンズフリー通話	86	リダイヤル	29
パルス回線	74	リダイヤルボタン	16
日付・時刻設定	115	料金集計表示	110
標準電話機	7	料金メータ	18
Bタイプ電話機	7	料金メータ表示	109
PB信号送出	74	留守応答	35
ファクス	7		
ファクススライド着信	80	【ワ】	
ファクス転送	49	話中着信	77
ファクスボタン	18	話中呼出	56
ファクスランプ	18	ワンタッチダイヤル	23
不在設定	69	ワンタッチダイヤルボタン	16
不在転送	69		
フッキング	45		
フックスイッチ	16		
フックボタン	18		
フレキシブルキーアサイン	88		
プログラマブルキー	18		
プログラマブルキーアサイン	90		
ベル拡声	85		
保留警報	85		

# 主な仕様

## 主装置

外線	外線数	最大4本
	収容回線	NTT加入電話回線・PBX内線・CES回線*
	ダイヤル方式	DP・PBのいずれも可 混合使用も可
内線	専用電話機配線方式	4線2対スター配線
	内線通話路	時分割PCM方式(ノンブロッキング方式)*
	専用電話機容量	8台(内2台はオプション)
	ファクシミリまたは単独電話機容量	2台(内1台はオプション)
	ドアホン容量	2個(オプションにて増設)
	ドア・カメラコントロール線	1本(ドアホンと同一オプション)
	構内放送/ベル拡声容量	1個(オプション) アンプコントロール付
	短縮ダイヤル容量	共通使用80個 各専用電話機毎10個
	ワンタッチダイヤル容量	各専用電話機毎10個
寸法	510(W)×78(D)×355(H)/mm	
重量	4.6kg	
消費電力	50W(最大)	
使用電源	AC100V±10%(仕向地 国内)	

- \* CES：事業所集団電話用交換機
- \*\* 以下の場合を除く
  - ▲ PB単独電話によるダイヤル中での、PB単独電話の発信、転送時。
  - ▲ 外線・外線転送時のPB単独電話の発信、転送時。

## 専用電話機

標準電話機 (Aタイプ)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	780g
	その他	
標準電話機 (Bタイプ)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	830g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ
ハンズフリー電話機 (Cタイプ)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	840g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ 外線・内線ハンズフリー
停電用電話機 (Dタイプ)	大きさ	178(W)×220(D)×75(H)mm
	重量	850g
	その他	3桁漢字ディスプレイ 10桁数字ディスプレイ